

シンガポール日本商工会議所

MCI (P) NO.006/03/2017
Japanese Chamber of Commerce & Industry, Singapore
Website: <http://www.jcci.org.sg>



駐在生活スタート！
30年余の診療経験で皆様の
健康管理をサポート致します



出張前の予防接種はお早めに

A型肝炎、B型肝炎、狂犬病、破傷風、日本脳炎、ポリオ、
腸チフス、黄熱病、インフルエンザ など

www.japan-green.com.sg

総合診療の
オーチャード本院

ジャパングリーンクリニック

診療科目

外来診察 (小児科・内科・外科・耳鼻咽喉科・婦人科*・他一般)、
予防接種*、乳幼児健診*、医療検査*、健康診断*、理学療法*
(疼痛治療・リハビリ等)、各種医療相談(アレルギー・禁煙・他)
*一般診察は予約不要です。*印は要予約。
歯科はJGHデンタルクリニック(当院内) Tel:6235-7747

受付時間

月～金曜日 09:00～12:00 14:00～17:30
土曜日 09:00～12:00

休診日

日曜日、シンガポールの祝日

所在地

290 Orchard Road, #10-01 Paragon
Singapore 238859

Eメール

reception@japan-green.com.sg

電話

6734-8871

ファックス

6733-1213

- ◆ MRTオーチャード駅より徒歩15分
- ◆ エレベーターはTower 1、Lobby Eを
ご利用ください
- ◆ 主要各科医師が在籍し検査機器も揃えた
総合クリニックです



パラゴン



健康診断ロビー

オフィス街の
身近なクリニック

ジャパングリーンクリニック
シティ分院

診療内容

外来診察 (一般内科・眼科*)、予防接種、
健康診断*、理学療法* (疼痛治療・リハビリ等)、
各種医療相談 (アレルギー・禁煙・他)
*ご予約をお願い致します。*設定日時はお問い合わせください。

受付時間

月～金曜日 09:00～12:30 14:30～17:30

休診日

土曜日、日曜日、シンガポールの祝日

所在地

1 Raffles Place One Raffles Place (Tower 1)
#19-02, Singapore 048616

Eメール

citybranch@japan-green.com.sg

電話

6532-1788

ファックス

6532-7673

- ◆ MRTラッフルズ・プレイス駅B出口至近
- ◆ オフィスタワー入口はChulia Street側
(UOBプラザ前)です
- ◆ お越しの際はIDカード (EP等) を
ご持参ください



ワン・ラッフルズ・プレイス



海外生活をサポートする総合医療センター

ジャパングリーンクリニック

ジャパングリーンメディカルグループ: シンガポール・ロンドン・上海・岡山

2018
JAN

月報

CONTENTS

1 新年にあたって P2

- 1.1 シンガポール日本商工会議所 会頭
MIZUHO BANK LTD. 梶折 卓彦
- 1.2 駐シンガポール共和国日本国特命全権大使
THE AMBASSADOR OF JAPAN TO REPUBLIC OF SINGAPORE 篠田 研次
- 1.3 シンガポール日本人会 会長
MITSUI & CO., LTD. 緋田 順

2 新年随想 P6

- 2.1 シンガポール日本商工会議所 副会頭
CANON SINGAPORE PTE. LTD. 郡司 典子
- 2.2 シンガポール日本商工会議所 理事
IHI ASIA PACIFIC PTE. LTD. 桑田 知之
- 2.3 シンガポール日本商工会議所 理事
ALL NIPPON AIRWAYS CO LTD 石井 智二
- 2.4 シンガポール日本商工会議所 理事
HITACHI ASIA LTD. 堀内 浩祐
- 2.5 シンガポール日本商工会議所 理事
MITSUBISHI CHEMICAL ASIA PACIFIC PTE LTD 稲見 英紀
- 2.6 シンガポール日本商工会議所 理事
MITSUBISHI CORPORATION 山野 正樹
- 2.7 シンガポール日本商工会議所 理事
NEC ASIA PACIFIC PTE LTD 赤木 鉄朗
- 2.8 シンガポール日本商工会議所 理事
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL SOUTHEAST ASIA PTE LTD. 古田 陽一
- 2.9 シンガポール日本商工会議所 理事
PANASONIC ASIA PACIFIC PTE LTD 西田 亨
- 2.10 シンガポール日本商工会議所 理事
THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, LTD 松本 真吾
- 2.11 シンガポール日本商工会議所 理事
TOKIO MARINE INSURANCE SINGAPORE LTD 石井 誠
- 2.12 シンガポール日本商工会議所 参与
JETRO SINGAPORE 石井 淳子

3 各部部长からのご挨拶／業界動向 P18

- 3.1 第1工業部会 部会長
SUMITOMO ELECTRIC AUTOMOTIVE PRODUCTS (SINGAPORE) PTE LTD 白川 敏美
- 3.2 第2工業部会 部会長
MITSUI CHEMICALS ASIA PACIFIC, LTD. 木下 雅幸
- 3.3 第3工業部会 部会長
YOKOGAWA ELECTRIC ASIA PTE LTD 小澤 仁司
- 3.4 貿易部会 部会長
ITOCHU SINGAPORE PTE. LTD. 堀内 文隆
- 3.5 金融保険部会 部会長
SOMPO INSURANCE SINGAPORE PTE. LTD. 高橋 幸嗣

- 3.6 建設部会 副部会長
OBAYASHI SINGAPORE PRIVATE LIMITED 奈良坂 純
- 3.7 運輸通信部会 部会長
MOL (ASIA OCEANIA) PTE. LTD. 赤坂 光次郎
- 3.8 観光・流通・サービス部会 副部会長
MITSUI FUDOSAN (ASIA) PTE. LTD. 松藤 哲哉

4 広報委員会より P34

- 4.1 広報委員長からのご挨拶
JAPAN AIRLINES CO LTD 山下 康次郎
- 4.2 JCCI広報委員会メンバーのご紹介
- 4.3 2017年シンガポール「主要ニュース一覧」

5 ASEAN6・インド経済の2017年の回顧と2018年の展望 P38

- MIZUHO BANK LTD. 松浦 大将

6 第28回 JCCI基金・募金贈呈式 P43

- 6.1 シンガポール日本商工会議所基金「2017年度募金」へのご協力御礼 鈴木 孝林
- 6.2 第28回 寄付・奨学金贈呈式
- 6.3 贈呈式～寄付先の紹介
- 6.4 2018年派遣留学生について
- 6.5 JCCI 基金提供先企業一覧

7 日本シンガポール協会便り P57

8 2017年会員懇親パーティー P58

- 8.1 2017年会員懇親パーティー [写真]
- 8.2 ラッキードロー賞品ご提供企業様一覧

9 11-12月 JCCIイベント写真 P66

10 活動報告・お知らせ P68

- 10.1 理事会議事録
- 10.2 入会会員一覧
- 10.3 事務局便り

11 編集後記 P71

編集後記

月報題字：麗扇会 青木 麗峰
表紙写真：中島 茂 NTA TRAVEL SINGAPORE PTE. LTD
写真タイトル：チャンギ空港ターミナル4の椅子達

JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY, SINGAPORE
10 Shenton Way # 12-04/05 MAS Building Singapore 079117
Tel: 6221-0541 Fax: 6225-6197 Website: <http://www.jcci.org.sg>



新年のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 会頭
MIZUHO BANK LTD.SINGAPORE CORPORATE BANKING DEPARTMENT
General Manager

栃折 卓彦



シンガポール日本商工会議所の会員の皆様、あけましておめでとうございます。

2017年を振り返りますと、2016年に台頭したナショナリズムの流れに伴う出来事が引き続き世界を賑わした年でありました。北朝鮮の核ミサイル問題、スペインカタルーニャ州の独立選挙など新たな動きが見られました。また、Brexit、アメリカ合衆国トランプ大統領の登場などグローバリズムへの反動とも言える流れも近年起きております。それらは、グローバル化によるメリットを実感していない多くの一般市民に支持された動きでもあり、今後もこうした動きへの注視が必要となっております。

しかし、上記の動きや出来事は、今後、真のグローバリズムを構築していく上での克服すべき課題であるとも言えます。また、グローバリズムの進捗の流れがこうした反動により一気に逆に向かうものではないと思います。例えば、2017年10月に日本は欧州連合(EU)と経済連携協定(EPA)について大枠合意しました。日本が自由貿易推進の立場を鮮明にしたと同時に、自由貿易主義に基づいた通商戦略を再起動しました。年後半には、トランプ政権後にアメリカ合衆国の離脱によって今後の行方が不透明となったTPPについても、除くアメリカ合衆国という形で「包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定」(所謂TPP11)の大筋合意を得ることができました。わが国日本は、グローバリズム、自由貿易主義の推進において大きな役割を果たしており、今後も主導的な役割を担っていくことが期待されます。

こうしたグローバリズムの中において、力強くそしてしなやかに、年々存在感を増大させてきたのが他でもないシンガポールであることは論を待たないでしょう。シンガポールは、建国から今年で53年。1965年、マレーシアから分離する形で独立しその後30年間、

年平均GDP成長率10%という驚異的な経済発展を続け、1990年代には先進国入りを果たしました。独立当初は5~6%であった失業率も1972年頃には解消し、反対に労働力不足となり外国人労働者が流入。2000年以降も加速度的な成長を維持し、2000年には960億米ドルであった名目GDPが、2016年には2,927億米ドルと3倍まで増加しています。この驚異的な伸びは、日本がそうであるようにグローバリズムに深く関与することにより成しえた偉業です。

シンガポールは、(かつての日本のように)政府主導で成長戦略を描いていることが特徴であります。今年になってシンガポールは「次の一手」、「これからの国のあり方」、について示しております。2017年2月、CFE(未来経済委員会)より報告書が公表され、長期ロードマップが発表されました。海外各国との関係強化、国民、企業おのこのデジタル化対応、イノベーション促進のため政府主導の産業変革プログラム(Industry Transformation Program)の推進といった戦略を柱とし、変革の時代の中にあってもシンガポールの成長性を保ち適応能力を高める政策の実現を目指すとしています。一方で、2010年のESC(経済戦略委員会)提言では、R&D拠点の開発、国際化を目指す外国中堅企業の誘致等、外国企業の誘致に関する提言が多く見られたものの、今回のCFE報告書では、シンガポール国民の技術向上、新たな職種や業務への対応サポート等、人材育成に関する提言も多く見られる等、変化も見て取れる内容となっております。今後、シンガポールと日本企業の関係においても、少なからず影響を与えてくるものと思われれます。

2017年の本商工会議所の主な活動内容ですが、部会活動として、運輸・通信部会と第2工業部会による「国会議事堂Parliament of Singapore見学会」、観光・流通サービス・金融保険部会共催による「SATS機内食工場およびSASCO航空機整備工場視察会」等を開

催しました。

7月にはシンガポールにて「ASEAN日本商工会議所と、ミンASEAN事務総長との対話」を実施しました。2017年にASEANは創設50周年を迎え、また、ASEAN各国の日本商工会議所が一体となって組織したASEAN日本商工会議所連合会（FJCCIA）が、ASEAN事務総長とASEANのビジネス環境改善に向けた対話を開始してちょうど10年目となりました。今回、3つのI（インフラ：Infrastructure、包摂性：Inclusiveness、イノベーション：Innovation）を鍵に更なる連携について、在ASEAN日系企業からの要望書を提出しました。本対話は、先のTTP11の大筋合意にもJCCIとして少なからずお手伝いが出来たのではないかと考えております。

2017年11月には、「ネパール・カトマンズ視察」を実施しました。12名が参加し、経済特区・日系企業見学、政府高官との意見交換等、非常に有意義なものとなりました。ネパールは南アジアの最貧国ではありますが、今後の成長ポテンシャル、成長の息吹きを実感する視察となりました。

加えて、加盟企業様から要望の多かったEP発給の遅延等にかかる対応について取組んできました。近時、シンガポール政府は、EPの発給について厳格化を行っており、今後も継続的な対応が必要と思われれます。

日本政府観光局の発表によりますと、2016年の訪日シンガポール人は、前年比17.2%増の361,800人と、実に外国人を除く人口の1割近い方が日本を訪れている計算になります。2017年10月迄累計も、前年を10%程度上回っているペースで増加しており、個人間の交流は年々活発化していると言えます。ビジネスにおいても、日本の先進技術との連携、及び、日本に対する投資等に関して、引き続き非常に強い関心を有しており、更なる活性化も期待されます。ただ、大事なことは、シンガポールと日本、お互いがWin-Winの関係になれるよう、切磋琢磨することであることではないでしょうか。そして、関係者一人ひとりにとって納得感のある、より洗練されたグローバル化を作るべきではないかと考えます。その中でシンガポール日本商工会議所は重要な役割を担っており、今後も会員の皆様のサポートの一翼を担えたら望外の喜びであります。今年も一生懸命努力していきたいと考えます。

最後になりましたが、シンガポール日本商工会議所会員の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

駐シンガポール共和国日本国特命全権大使
THE AMBASSADOR OF JAPAN TO REPUBLIC OF SINGAPORE

篠田 研次



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、それぞれに良い年をお迎えになられたものと存じます。

私は、一昨年、前任地のフィンランドから当地に着任し、文字通り北極圏から赤道直下への移動でありましたが、当地の熱帯的気候、特に年中30度前後、毎日朝7時に日が昇り、夜7時に日が沈むという「快適な単調さ」に心地良さを感じるようになっております。

さて、当地着任以来、私が皮膚感覚として最も強く感じておりますのは、第一に、日本とシンガポールとの距離感の圧倒的な近さという点と、第二に、情報、安全保障、ビジネス、文化等様々な面で、シンガポールが東南アジア、更にはより広範なインド・太平洋地域の「ハブ」としての位置付けを有しているという点です。ここ数年の間に日本企業がインド・太平洋地域を総覧する「地域統括本部」を当地に展開・強化される動きも多く見られ、2013-2015の三年間に在留邦人数が一挙に三割増加したことの背景には、この影響があるのではないかと考えております。

シンガポールは過去50年の間に目覚ましい発展を遂げ、シンガポール企業の技術、ノウハウ等のレベルも格段に上がってきているものと思われまます。日本のビジネスの皆様が当地を拠点に広い地域においてビジネスを展開される余地は益々大きくなっているものと拝察致しますが、その際、更に一歩進めて、シンガポール企業をパートナーとして連携・協力し、第三国、第三のマーケットに共に展開されるという「日星ビジネス・パートナーシップ第三国展開」の潜在力も益々高まっているのではないかと考えております。既にインド等を含め、いくつもの実態、実例が進んでいます。シンガポールの方が得意とする分野や地域においては、シンガポール側がリードし、日本の方が得意とする分野や地域においては日本側がリードするというこ

とも協力の一形態であろうと思ひます。

この最も近い例としては、ジョホール海峡を越えてすぐのイスカンダル・マレーシア地域が考えられます。この地域は、現に都市開発が進んでいるほか、高速鉄道や地下鉄の延伸でシンガポールとの接続性が高まることを見込まれており、今後10年、20年を見れば、当地日本企業の皆様、シンガポール・サイドからの視点を持ってアプローチしていくことに大いに意義があるのではないかと考えております。私どもとしては、このような問題意識を持って、シンガポール日本商工会議所の皆様との協力の下、例えば、「イスカンダル・マレーシア地域実地踏査ミッション」といったものを実施できればと考えております。

東南アジア全域を見れば、昨年は、ASEAN設立50周年の節目を迎えました。ASEANはこの50年で目覚ましい成長を遂げており、経済規模は2兆5千億ドルを超え、6億人を超える人口を有する、世界経済の原動力となっております。その重要性は経済に止まらず、東アジア首脳会議（EAS）やASEAN地域フォーラム（ARF）といったアジアの政治安全保障の枠組みの核として、アジア地域の平和と安定を図る上で中心的な位置を占めております。

本年は、シンガポールがこのように重要なASEANの議長国になる番です。私どもとしては、そのようなシンガポールと協力してASEANとの緊密な関係を更に強化し、また、そのことを通じてシンガポールとのパートナーシップも更に深化させるよう努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、シンガポール日本商工会議所の益々のご発展と、会員の皆様のご多幸、ご健勝を心より祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年の御挨拶

シンガポール日本人会 会長
 MITSUI & CO., LTD.
 Deputy Chief Operating Officer, Asia Pacific Business Unit

緋田 順



明けましておめでとうございます。シンガポール日本商工会議所の会員の皆様に日本人会を代表して、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年もシンガポール日本商工会議所並びに会員の皆様におかれましては、日本人会の活動に対し格別なるご支援、ご協力を戴き、誠に有難うございました。

シンガポールは、世界経済フォーラムが発表した世界競争力報告ではアジア1位、世界3位、世銀が発表した2018年ビジネス環境ランキングでもアジア1位、世界2位に位置づけられております。デジタル化、人工知能、IoT、フィンテックを始めとする技術革新、シェアリングを始めとするビジネスモデルイノベーションが予測を超えるスピードで進む中、Smart Nationを標榜し先進的な取り組みを進めるシンガポールは、これらのメガトレンドを今後も先取りしていくものと予測されます。世界的な環境破壊、自然災害、テロに加え、南シナ海や北朝鮮問題などの地政学的リスクを抱えるアジアではありますが、今後、着々と進む経済連携に伴うビジネス環境の変化の只中で、設立から半世紀を超えたASEANの議長国となる今年、アジアに於けるシンガポールの存在感と重要性は、益々高まると考えます。

アジア各国における中国の台頭やインドの勢いを目の当りにする当地から日本を振り返るとき、正直、日本の未来を憂うところはあります。上記のランキングで夫々世界9位と34位という結果が示す通り、様々な規制や既得権益など変化しきれぬ社会システム、少子高齢化による人口減少と年金・医療費の歪み、技術力・革新力の相対的低下等、日本には待ったなしで解決すべき課題が多々あります。他方、日本の誇る高質なモノ作りやサービスは今でも世界の最先端を走っており、その面で現在の日本にはSmart Nationシンガポールの強みを更に強めると共にシンガポールの先進性に日本の未来をビルトインさせ新たな強い日本を自ら開花させる潜在力が未だあると考えます。ここに日本の強みとシンガポールの強みが融合することの、両国にとっての、そしてアジアにとっての重要な意義があるのではないかと思考するものです。その意味で、

シンガポールにおける日本人社会の役割は極めて重要で、今後、日本が世界に伍してその存在感を一層高めていく為にも更にその戦略的重要性が増すと考えます。

2015年はシンガポール日本人会設立100周年、2016年は日星外交関係樹立50周年、そして2017年は戦後、日本人会が日本クラブという名前で再発足してから60周年を迎えた年でしたが、シンガポール日本商工会議所と日本人会、そして日本大使館を始めとする日本政府、各種協会が一体となって形成している日本人社会の広範な分野での貢献は、シンガポール社会で非常に高い評価を戴いているものと考えます。

社会貢献活動を例にとると、1990年に設立された「シンガポール日本商工会議所基金」の他にも、日本人会が1958年から始めた「チャリティ・バザー」と1974年から始めたチャリティ・ドローがあります。前者は毎年シンガポールの方達が非常に楽しみにしている日本人会館のオープンハウスのイベントの一つで企業からご寄付戴いた物品や御婦人方の手作り作品を販売し、後者と共にその収益金をシンガポールの恵まれない方々の為に長年に亘り寄付してきております。

夏まつりを始めとする日本人会の様々なイベントは、シンガポール日本商工会議所、そして日本大使を始めとする大使館の皆様の強力なご支援にも支えられ、時代や環境の変化に即し長きに亘り脈々と引き継がれ、日本人社会の存在感を示し両国関係の強化に大きな役割を担ってきており、今後も日本人会は日本の強みとシンガポールの強みの融合の基盤のような存在であり続けたいと考えます。加えて、世界最高の評価を得ているシンガポールの教育環境の中で、日本人会は補習校を含め4つの日本人学校を運営しております。毎年約400人が巣立つ日本人学校の優秀な生徒達は日本の強みとシンガポールの強み、その両者を若くして体感しており、未来の日本に、そして両国友好関係の深化を通じたアジアと世界の健全な発展に、間違いなく貢献してくれることでしょう。

最後になりましたが、シンガポール日本商工会議所の益々のご発展と会員の皆様のご多幸とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



新年にあたって

シンガポール日本商工会議所 副会頭
CANON SINGAPORE PTE. LTD.
President & CEO

郡司 典子



シンガポール日本商工会議所の会員の皆様、新年おめでとうございます。

日々大きく変化するアジアにおいて、皆様さまざまな心持ちで新年をお迎えになっていることと思います。

私たちキヤノングループのミッションは「お客様にDelightを提供すること」です。アジア各国では「Delighting You Always」をスローガンに掲げ、お客様に喜ばれる製品とサービスを提供することを目標に日々活動しております。新年にあたり、このミッションを遂行する「基本の基本」にあらためて思いを馳せてみたいと思います。

まず、お客様にDelightをお届けするには、私たち自身が毎日楽しく仕事をする必要があります。弊社では「自発、自治、自覚」の「三自の精神」と、ベンチャー企業として創業された当時のチャレンジ精神を忘れない「進取の気性」を全社の行動指針としています。シンガポールにおいても、すべての社員がより楽しくやりがいを感じて仕事をしてもらうために、社員の誰もがこの三自の精神と進取の気性を発揮できる、風通しの良い会社となることを目指しています。

そのために私は社員たちに「3つのS」を心がけてほしいと言っています。

一つめのSはSmile、笑顔です。笑いが心身ともにポジティブな効果を持つことはよく知られています。思い切り笑った後に気分がすっきりすることは誰でも経験があるでしょう。面白いことがなくても、わっはっはと笑うエキササイズもあります。笑顔は人と人のコミュニケーションを確実に良い方向に導く重要なポイントです。また、笑顔のあふれる写真はより印象深く、思い出に残る一枚となります。

写真文化を広めていくことを使命としている弊社では、社内外でのスマイル促進を目指して「Big Smileキャンペーン」を展開しています。昨年からは専用のキャラクターも作りました。社内においても、Big

Smileキャンペーンのボードを持ったグループが毎朝、「今日もSmileを忘れずに」と呼びかけながらオフィス全体を回る活動を続けています。

二つめのSはSpeak、声に出して話をしよう、です。昨今、同じ部門内でもメールやチャットでのやりとりをしがちですが、直接話をした方がより良いコミュニケーションが取れると思います。また、言いたいことを自由に口にできる雰囲気、環境を作ろう、という思いもあります。そういったことから、TypingではなくSpeakingでのコミュニケーションを推進しています。

三つめのSはSleep、睡眠です。最近とくに睡眠の重要性が注目されていますが、社員の健康のためにも、日々の仕事の生産性アップのためにも、良質な睡眠は最も重要なポイントです。しかしながら、忙しさに追われる毎日の中ではなおざりにされがちなのではないかと危惧しています。私がオフィスで「睡眠」の重要性を説くと笑われることもありますが、私は大真面目です。弊社は創業以来、社員の「健康第一主義」を掲げており、健康であってこそ良い仕事もできると思います。

これら3つのSを忘れることなく楽しく仕事ができれば、お客様に真のDelightをお届けすることができると信じています。2018年も「Delighting You Always」をスローガンに、「お客様にDelightを提供する」ために、様々なことにチャレンジして参ります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年にあたり

シンガポール日本商工会議所 理事
IHI ASIA PACIFIC PTE. LTD.
President & Chief Executive Officer

桑田 知之



皆様、新年あけましておめでとうございます。

初めての海外赴任生活も、早9ヶ月が過ぎ、それなりの生活ペースが出来上がってきました。赴任前までは、毎月海外出張をすることが多かったのですが、やはり拠点を構えて定住するのは、日本からの海外出張とは違う、色々な気付き、驚きを感じます。

その中で一番強く思ったのは、シンガポールは、東南アジアの近代国家、と言うよりも、都市国家そのものに見えた点です。

国土の広さを考えると、農業が立ち行くわけもなく、必要なものを外から購入し、代わりに、最先端の金融技術、ITや製造技術で食べていく!! という姿勢が、潔いぐらい明確です。いつも日本との違いを考えるのですが、日本と違って田舎対策にお金を使う必要が無いので、効率よく国の成長戦略を打ち出せるんだな!! と痛感しました。

末節な話ですが、夜行便に乗るためにチャンギ空港に行く途中、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイのスーパーツリーが、きれいに電飾で飾ってあり、徹頭徹尾 Artificial な国家だなと痛感しました。

この国としての明確な方針の徹底により、ブロックチェーンに代表される金融テクノロジーでは、法制度の変更も含めた政府機関のフットワークの良さから、法制度でがんじがらめの日本を既に追い抜いた感がありますが、製造業の分野でも同じ動きが起こっています。

シンガポールは、国を挙げて世界の潮流であるIoT、IE4.0に代表される Additive Manufacturing に本腰を入れています。私自身は、製造業と言う仕事柄、EDBやA*STARと付き合う機会が多いのですが、このやり取りの中で感じるのは、基礎技術では、日本の方が上ですが、シンガポールのすごさは、基礎技術をとりにあえず横に置いて、直ぐに最先端の機器を導入し、応用研究を行ってしまうことだと感じています。このスピード感は日本では考えられず、日本では、なぜ? 導入効果は? 何年で回収? 等々の質問をされ、それらをクリアしないと導入に至らず、このサイクルを回すのに時間がかかってしまいます。

先日、A*STAR傘下のARTC (Advanced Remanufacturing Research Centre) が主催するFoM (Future of Manufacturing) Summitと言うのに参加しましたが、以下の趣旨を大々的に謳っていました。

・キーワード: Digital Transformation、IIOT (Industrial IOT)、セキュリティ、人材(再)教育・育成

・要素技術: 自動化、ロボット、Additive Manufacturing (3D Printer)

・3つのコア要素:

① Fusion of Virtual and Real

② Cyber-Physical Production System

③ Dynamic Production Network (①、②は取組み済みで、今後は③に注力)

・今後はCloud、Fog、Intelligent Edgeから成るNetworkとなるので、オープン化とセキュリティ確保が重要。

・Distribution channelを介した大量搬送から、多品種・少量で多くの製造現場から顧客への個別直接搬送のロジスティクスに移行するので、SCMも含めたProduction Softwareが必要。

この差別化のポイントは、①Quality、②Productivity、③agility、④Flexibility。

・企業活動全体がDigital Transformationに対応できなければならず、そのための人財教育・育成が極めて重要であり、しかも、将来も「ヒト」が中心であり続ける。

このような、ビジョンとネットワークのうまさを利用し、航空機産業でも、外資を呼び込み、MRO (Maintenance Repair Overhaul) の東南アジアハブをシンガポールで実現しました。これには、地の利も作用していますが、かれらのネットワーク文化の成せる技だと考えられます。また、現在医薬工場でのデジタル化、連続運転へのプロセス変更など工場のプロセス改善を目指すコンソーシアム (PIPS: Pharma Innovation Progress Singapore) を立ち上げ、GSK、MSD、Pfizerなどの呼び込みに成功しています。

翻って、日本は? 個別技術は日本の方が上ですが、ネットワークは、シンガポールの方に軍配が上がります。従い、製造業で働く人間として、赴任期間中に、ネットワーク文化を学ばねば!! と人一倍認識させられました。

また、個人的には、日本の技術とシンガポールのネットワークを組み合わせると、もしかしたら世界? アジア? をリードできる? と新年の夢を描いてしまう自分を認識しつつ、それに向けて、今後も頑張らねば!! と気持ちを新たにしているところです。

末筆ではございますが、会員の皆様、そしてご家族様にとりまして、本年もよりよい年となるようになりますよう心よりお祈り申し上げます。



「想像」の時代

シンガポール日本商工会議所 理事
ALL NIPPON AIRWAYS CO LTD
Vice President, Asia and Oceania and General Manager, Singapore Office

石井 智二



桜の咲く東京から常夏の当地に赴任して、早9か月。アジア・オセアニアの当社便就航地、13か国15都市を担当している関係から、この間多くのアジアの諸都市を訪れてきました。それぞれの国で、日本にいると身近に感じられないこと、あるいは、日本では考えられないようなことに触れることができました。

例えば、昨今発展著しいミャンマーでは、国民の銀行口座保有率はわずか6%に過ぎません。その一方、スマートフォンの保有率（スマホ・携帯のSIM保有率）は100%を超えています。私たちが幼いころ、昭和40～50年代の日本では、既に殆どの国民ないし家計が銀行口座や郵便貯金の口座を開設していたと思いますが、スマートフォンは夢の世界というか誰も想像していなかったものでした。

このような例を引くまでもなく、アジア諸国は、銀行口座があってクレジットカードが登場、固定電話があって携帯電話が登場、インターネットが普及してスマートフォンが登場するという、日本や先進諸国が辿ってきた道筋とは異なる新たな発展を遂げていくことになりそうです。我々が辿ってきた発展の道筋を新興国の発展に当てはめた仮説は通用しそうにありません。

翻って周りを見てみると、必ずしもアジアだけではなく、世界中で時代の変化というか、世代の変化を感じざるを得ません。我々昭和世代とミレニアルズ（ミレニアル世代）との間には、その価値観やライフスタイルにおいて多くの違いがあるようです。一般的に昭和世代は運転免許を取得して自家用車を所有したいと考えましたが、ミレニアルズは運転免許や自家用車の所有にはそれほど強い興味がなく、むしろ、公共交通機関での移動やウーバーをはじめとする配車サービス、カー・シェアリングを便利で快適と感じているようです。ミレニアルズはブランド品にはあまり興味がなく、必要十分な機能を備えたシンプルでリーズナブルなものに好感を持っているようです。また、かつて

日本企業の強みとされてきた作り込み、擦りあわせによってもたらされる高品質よりも、むしろ、リーンスタータアップ、アジャイル型開発といった言葉に代表されるような、よりスピード感を重視した商品開発、経営手法も重視されるようになってきています。「免許や自家用車は不要」「ブランド品には興味なし」「バッグ（初期不具合）はあっても仕方がない」という価値観の到来を、果たして20年前に誰が想像していたでしょうか。

これからの時代、過去の経験やマーケットリサーチに基づいて消費者の価値を「創造」していく感性に代わって、一足飛びに将来を「想像」していく感性が求められているのかも知れません。

先進国が1900年代後半に経験してきた経済発展を一気に飛び越えて、いきなり新たな技術や環境を取り込んで発展するアジア諸国。次はどの国でどのような「私の想像」を超えた驚きに出会うことができるでしょうか。これからも、そのような驚きに出会うことを楽しみながらアジア生活を満喫していきたいと考えています。

末筆となりましたが、本年が会員の皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、お祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年にあたって

シンガポール日本商工会議所 理事
HITACHI ASIA LTD.
Managing Director

堀内 浩祐



人生初の海外勤務を命ぜられ、2016年4月シンガポールに着任してから、早くも2回目の新年を当地で迎えています。実のところ、初めての海外勤務どころか、転居を伴う転勤そのものが、会社人生始まって以来で、どうなることかと思いながらはじめたシンガポール暮らしも、少しずつ板についてきたかなと、年末のオーチャードロードの輝きを見ながら感じておりました。

思い起こせば、着任した2016年は、日本—シンガポール外交50周年、SJ50の年であり、篠田大使の強力なリーダーシップの下、さまざまな事業が成功裏に終了し、両国民がこれまでの友情と、これからの更なる連携強化に向けた意欲を新たに祈念すべき年でした。そして昨年は、その成果を踏まえ、SJ100に向けた新たなスタートの年でありました。こうした歴史的な節目を、このシンガポールで過ごすことができたことは望外の喜びであり、また、自らの祖国である日本を、改めて強く意識する機会となりました。

省みれば、世界各地でも「祖国」をめぐるさまざまな動きが起きています。英国における、いわゆるBrexitの可決、米国では「アメリカ・ファースト」を掲げるトランプ政権の発足がありました。中国においては、習主席が推し進める「一帯一路」構想を核に、更なる国威高揚を図る動きが強まっています。またシンガポールを含む東南アジアにおいては、国家の枠組みとは別に、民族や宗教といったつながりを基盤とする課題が顕在化しつつあるのが現状です。私たち日本企業、さらに日本という国が、こうした各国・各地域とどうかわるべきか、大局的かつ長期的な視野に基づいた決断が、今こそ求められているように思います。

この2年の間、東南アジア各地を訪ね、各国政府関係者、民間企業の方々など様々な方々とお話をさせていただく機会が多くありました。もちろん弊社グループ各社のスタッフとひざを交えて語り合う機会もあり

ました。そうした中で、私の中のキーワードとして浮かび上がってきた言葉が、「つながり／Connection」です。先日、シンガポールで事業を営んでいる方々と食事をする機会がありました。話題はシンガポールの大統領選挙から、不動産開拓の話、あるいはシンガポール人が大好きな日本旅行で楽しみにしている食事の話など、縦横無尽に広がっていったのですが、非常に印象的だったのは、彼らが持つ幅広い人脈と、それを活用して収集される膨大な情報量、そしてそれらをつなげることで、次々と繰り出されるアイデアの数々でした。その話を聞きながら、私自身のこれまでの会社生活の中で、一人のお客様との出会いが、思いがけない次の出会いを生み出し、新たなビジネスの種が生まれる瞬間に立ち会ってきたということを改めて思い起こしました。昔から「袖刷りあうも他生の縁」といいますが、人と人がつながりあうことの重要性を再確認した瞬間でもありました。

昨今の大きなトレンドである「IoT (Internet of Things)」のポイントも、実はこの「つながり」にあると、私は考えています。各種のセンサーから得られるデータが、インターネットを通じて集められ、別の種類、別の角度のデータと「つながる」ことによって、新たな知見を生み出す種になるのが「IoT」の要点です。Big Data AnalyticsやAIといった最新のテクノロジーも、この「つながり」がなければ始まらないのです。そういう意味では、新たな価値を作り上げる原動力は、古今東西「つながり」ということになるのかもしれない。

新年を迎えるにあたり、私自身、改めて「つながり」の重要さを肝に銘じ、1年を過ごしてまいります。会員の皆様にも素敵な「つながり」が訪れますよう、心より祈念いたしております。



風水の国 シンガポール

シンガポール日本商工会議所 理事
MITSUBISHI CHEMICAL ASIA PACIFIC PTE LTD
Managing Director

稲見 英紀



新年明けましておめでとうございます。

昨年3月にシンガポールに着任し、初めての新年を迎えました。1990年から7年間台湾の高雄に駐在したことがあり、今回が2度目の海外勤務となります。シンガポールも約75%の方が中華系ですので、2度とも中華系の国で暮らすことになりました。中華系といいますと、意識せずとも日常生活の中に溶け込んでいるのが「風水」です。台湾で暮らしていた時は、机の向きから天井の蛍光灯の向きに至るまで、あらゆる所に風水の考え方が浸透しており、普段の生活の中でも風水を意識せざるをえませんでした。シンガポールに来てからは風水という言葉が聞けなかったのも、あまり意識していなかったのですが、昨年9月のJCCIの部会行事「シンガポール建築物・風水視察会」に参加し、半年間住んでいて全く気がつかないシンガポールの風水の世界を知ることができました。

風水とは、4千年前の中国が発祥の地で、「気」の力を利用して運を開いていく、すなわち「環境が運を変える」というのが基本的な考え方です。自分の運の流れに任せるのではなく、運が良くなるよう工夫し変えていくというわけです。その方法を示すのが風水です。

風水の基本は「陰陽五行」で、自然界に存在するのはすべて「木・火・土・金・水」に分類され、「木」は植物や木製のもの、「火」はプラスチック製品や化学繊維、「土」は陶磁器や鉱物、「金」は金属やメタリックなもの、「水」は液体やガラス製品が当てはまります。

五行には各々が互いに影響しあい、運を強めていく「相生」の関係があります。たとえば、「水」は「木」を育てる、「木」は燃えて「火」を生むという気が生じます。一方、「相正」とは反対に「相克」という関係もあります。たとえば「水」は「火」を消す、「火」は「金」を溶かすといったように、お互いが対立しあって運を低下させます。したがって「相生」の関係

をうまく使い、「相克」となる関係を避けることが風水の原則となります。

風水では、「気」の流れは「水」によって止まると考えられ、気の流れの止まる所は発展すると言われています。水は川や湖であり、また海ですので、水に近いところは繁栄するといわれ、東京、ニューヨーク、香港そしてシンガポールといった大都市の多くは海に面しています。「水に近いところは栄える」というのは、地理的視点だけではなく、風水の視点からも言えることなのです。シンガポールは都市計画の段階から風水を取り入れたので、急速に経済が成長し、アジアでも有数の経済国になり、また国土には東西南北、中央に5匹の龍がおり、その龍が幸運をもたらし、繁栄させているといわれています。

ところがMRT建設のため地下工事を進めたところ、この5匹の龍脈が分断されることになってしまいました。そのため、当時のリー・クアン・ユー首相が風水師に対策を相談したところ、八卦図＝八角形のものを国民に持たせればよいと進言されました。それがシンガポールの1ドルコインです。今のコインは八角形で中に丸い銀色の部分がありますが、これは邪気を払う八卦鏡を表しています。先日日本からの出張者にこの話を紹介したところ、「これからはシンガポールの1ドルコインをゴルフの際のマーカーとして使おう。」と言っていました。その後その方のゴルフスコアが向上したか否かは確認しておりませんが…。

風水を取り入れながら発展を遂げたシンガポールと同様に、風水の力によって皆様に幸運が訪れ、2018年が最良の年となりますことをお祈り申し上げます。



対照的な国：シンガポールと日本

シンガポール日本商工会議所 理事
MITSUBISHI CORPORATION
General Manager, Singapore Branch

山野 正樹



新年明けましておめでとうございます。JCCI会員の皆様におかれましては、晴れやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私事になりますが、シンガポールに赴任して早や一年が経とうとしています。何度か出張で訪ねていた場所ではありますが、東京勤務時代はITビジネスを担当していた為、出張の主な訪問先は米国。過去の駐在も米国だけでしたので、シンガポール駐在と聞いた時は少々驚きました。しかし、一年近く住んでいると、すっかりこちらがホームのように思えてくるのは不思議なものです。

こちらに駐在して感じることは様々ですが、何といてもシンガポールと日本の違いでしょうか。同じ先進国ですが、シンガポールは色々な意味で日本と対照的な国だと思います。米国に居た時はあまり感じる事がなかった感覚。戦後米国を手本に民主主義を進めた日本は、政治や社会のシステム、価値観もかなり米国の影響を受け、米国に似たものになっているということかもしれません。

まず最大の違いは同じ民主主義を標榜しながら政治のシステムが全く異なる点。議会制民主主義は同じでも与党のPAPが圧倒的多数を占めるシンガポールと多数の政党が乱立する日本。どちらのシステムが優れているのか、民主主義とは何なのか、改めて考えさせられます。シンガポールは優秀なリーダーに国作りを任せてきたからこそ、政策の立案や実行を的確かつ効率的に進め、短期間で経済的な繁栄を手にしたといえるわけです。日本は道路一本通すのにも何十年もかかりますが、こちらではゴルフ場の接収・再開発もあっという間ですからね。国民に便益を与える効率性やスピードの違いは歴然です。

リー・クワンユーの英語公用語化も英断だったと思います。英語と母国語がほぼバイリンガルのシンガポリアンと多くが日本語しか操れない日本人。日本語は美しい言葉ですが、やはり国際社会との距離は自ずと異なってきます。

もう一つが外国人・移民の受け入れと活用。人材多

様性をベースに発展してきたシンガポールと未だに外国人労働者受け入れのハードルが極めて高い日本。少子高齢化という、直面している問題は同じであっても、手をこまねている感のある日本に比べて、オープンポリシーを掲げる当地のほうが様々な選択肢があるように思います。

日本がシンガポールに学べそうなことを挙げましたが、一方で日本の良さが際立つ部分。それは、人生に複線が用意されていること。シンガポールでは12歳の時の全国統一テスト（PSLE）でその後の進学校が決まり、優秀な成績を収めた学生が大学進学につながるジュニアカレッジ、次がポリテック（高等専門学校）、そして成績のふるわなかった者が職業訓練校（ITE：Institute of Technical Education）に進学します。最後の学生は自らを揶揄してIt's The Endというそうですが、10代の若者にそんなことを言わせてしまう社会というのはどうなのか。日本もある程度学歴社会ですが、学歴がなくても商売で成功している人は数限りなくいるし、職人としてプライドを持って仕事をしている方、芸術や音楽の道を志す方も沢山いらっしゃいます。この点では、日本社会のほうが、包容力があるといえるでしょう。

日本の丁寧な「おもてなし」の精神もやはり日本が世界に誇るものですね。配慮がきめ細やかで相手の立場を考えて行動できること。これこそが、Japan Quality を生み出している源泉だと確信します。そういう意味では、カスタマーサービス後進国の当地でシンガポール航空がどうやってあのような素晴らしいサービスを定着させたのか、とても興味があり、次の研究テーマにしようかと思っています。

折角の駐在生活、仕事の傍ら、これからもシンガポールや東南アジアのことを深く理解し、日本や世界のことを考えていけたら良いな、と思っています。

末筆になりましたが、本年が会員の皆様並びにご家族にとりまして良い一年となることを祈念致しまして、私の御挨拶とさせていただきます。



新年にあたり

シンガポール日本商工会議所 理事
NEC ASIA PACIFIC PTE LTD
Chief Executive Officer

赤木 鉄朗



皆様、明けましておめでとうございます。商工会議所の方々をはじめ、シンガポールにお住まいの皆さまにおかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年4月にオーストラリア・メルボルンから赴任してまいりました。私共夫婦にとってシンガポールは、米国・サンノゼ、香港、北京、オーストラリア・メルボルンに続き、海外5番目の赴任地であり、2004年に香港で飼い始めたチワワのCOCOにとっても、東京を含めると5つ目の都市となります。

住めば都とも申しますが、私の駐在した他都市と比べても、シンガポールは安全・安心が高いレベルで確保されており、アジア、あるいは世界の中でも、日本人にとって非常に住みやすい別格な都市であると感じております。

私の最初の海外赴任は、今から30年前、80年代の米国・サンノゼであり、現地の電話会社様向けにモデムと呼ばれるデータ通信機器を営業することから始まりました。当時の最先端機器でありましたが、データ通信速度は、現在の10,000分の1以下、容積は弁当箱2つ分、最上位機器の価格は新車一台分に相当しておりました。インターネットの黎明期として、政府・企業様の基幹コンピュータ間の通信、あるいはほんの一部の方のパソコン通信用途として、データ通信機器が活用されていた時代です。米国は、もちろん世界の先進国でありましたが、日本関係のメディアは、1週間遅れの新聞、あるいは週末に30分だけ放送される日本語放送のみであり、最も頼りになるのは、人を通しての情報でした。

インターネット・スマートフォンの普及による社会インフラ、あるいはライフスタイルの変化に伴い、シンガポール日本商工会議所に求められる役割も年々と多様化しつつあると考えます。さまざまな情報がネット上にあふれる現在だからこそ、会員・事務局の皆さ

まと推進している、地元社会との文化的交流・対話の促進、各種講演会、日本語弁論大会、日本への留学生の派遣、シンガポール社会への寄付実施など、人と人とのつながりに基づく草の根的な文化・スポーツ交流は、シンガポール日本人コミュニティからシンガポール、そしてアジアへの力強いメッセージとなり得るのではないのでしょうか。

新年の話題としてあまりふさわしくないかもしれませんが、私にとりまして、シンガポールにおいて最も記憶に残っており、神聖な気持ちとなった場所は、2017年3月14日の墓地慰霊祭で訪問させていただいた日本人墓地であります。1891年に誕生し、悲しい歴史を含みつつも当地に住まわれる幾多の日本人およびシンガポールの皆さまによって美しく守られてきたこの墓地は、日々変化するシンガポールの中であって、悠久の歴史と両国間のHand in Handのつながりを感じさせていただく場所となりました。

シンガポール日本商工会議所は、1965年にシンガポールがマレーシア連邦から分離独立してわずか4年後の1969年7月に設立され、現在では法人会員730社、個人会員90名、計820名（2017年11月時点）の皆様に参加いただくに至っていると伺っております。まさに、幾多の会員の皆様、諸先輩のご苦勞の賜物により、ここまで発展してきたと考えます。そのご苦勞に感謝しつつ、私自身も微力ながら何等かの恩返しをさせていただき、当地での赴任生活を全うできたらと考えております。今後とも、よろしく願い申し上げます。



サンパウロからシンガポールへ

シンガポール日本商工会議所 理事
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL SOUTHEAST ASIA PTE LTD.
Managing Director

古田 陽一



皆様、明けましておめでとうございます。

私は昨年4月にブラジル/サンパウロからシンガポールへ転任となりました。前任者との入れ替えということも含め、当社としては珍しいパターンの異動です。当社の海外事業の軸がアジアと米州であることから、十分ありうる話なのですが、当初は両名とも正直大変驚き戸惑いました。

しかしながら、サンパウロからシンガポールへ来た私は恵まれています。サンパウロ駐在は2年弱でしたが、その前の6年間東京本社での業務で、多い時は年10回もブラジル出張をしていたため、もっと長くブラジルに勤務したような錯覚があります。

ブラジルはご承知のとおりBRICSの一角として期待された国ですが、ここ数年の政治経済状況たるや惨憺たるものでした。一握りの裕福層やエリートビジネスパーソンは立派なものですが、貧富の差が極めて大きく、結果として治安もよくありません。穏やかな国民性に加え、古くからの日本人移民の苦勞で築かれた日系人社会もあり、対日感情も総じていいのですが、日本人が駐在して暮らすには、決して楽な場所ではありません。

サンパウロは立派な大都市で、日系人・日本人も多く暮らし、日本食レストランなどもある程度あって一番住みよい条件ですが、それでもシンガポールとは比べ物になりません。安心して外を歩くこともできず、道路はいつも混雑、そして言葉もビジネス上はおおよそ英語でなんとかなりますが、日常生活はポルトガル語が必須です。

また日本とは地球の反対側ですから、飛行機も乗り継ぎで丸一日以上かかります。時差もちょうど12時間で、いまやコミュニケーションツールが整っているため、朝晩問わず仕事が続くということにもなりかねません。

現在当社からの派遣者の数が一番多い国がブラジルですが、その多くはサンパウロではなくもっと不便な場所に働いています。厳しい環境で大勢が頑張っている割には、ブラジルでの事業は胸を張れるような成果をあげられていません。グローバル事業で発展をめざそうという当社の力不足を痛感させられる状況です。

転じてシンガポールでは、ASEAN・インド地区を管掌していますが、当社の海外派遣者のうちの半分近くが働いている地域であり、各国の事業もそれなりに成果をあげつつあります。出張が多く、シンガポールに居るのはざっと半分くらいですが、暮らしやすい環境で、大変うれしく思っています。上にご紹介したような前任地から直接転任したからこそ、そのありがたみが身に染みるのだと思います。私の知る限り、日本人が海外駐在する中で最高の環境だと言っても過言でないと思います。特に街中や空港までの移動の利便さ・確実さ、通勤の面でもまことに恵まれています。食も多岐にわたり、いいレストランもあれば安いお店もありますし、買い物にも不自由しませんし、ゴルフもアクセスよくできます。物価が高いとはいえ、工夫の範囲ではないでしょうか。常夏の気候はもちろん外での活動に一定の制約にはなりますが、何しろどこでも冷房が効いていますから、過ごし方次第ですが十分快適といえるでしょう。

こうやって見てくると、日本の企業がアジア地域の統括機能を拡充されたり、広くサービス産業がどんどん進出されたり、また日本を脱出して個人でシンガポールに職を求めて来る人も多数おられたり、というのうなずけるところです。シンガポール政府当局による外国人就労許可の厳格化による問題も早く沈静化して、ますます多くの日本人がシンガポール、そしてアジア全域にて活躍し、貢献できるよう願っています。

今年が皆様にとり、またシンガポールにとっても素晴らしい年になることを祈念いたしております。



新年に想うこと

シンガポール日本商工会議所 理事
PANASONIC ASIA PACIFIC PTE LTD
Managing Director

西田 亨



皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も宜しく願い致します。

2015年の7月にシンガポールに赴任し、早2年半が過ぎようとしています。2004年末のバンコックに次いで二度目のアジアですが、特に昨年の天候の悪さには驚くばかりです。亜熱帯気候とは言え、ここまで雨の多い日が続くとは日本の異常気象も含め、赤道直下での地球の悲鳴を聞いているようです。

さて、新年にあたり思う事の一端を書かせて頂きたいと思います。まずは、世の中の様々な分野で大きな変化、パラダイムシフトが起きようとしている事です。例えば、10年前と比較してスマホがここまで普及することなど誰が予測したのでしょうか。今ではスマホなしでは生活が成り立たないのが実感です。今後もこのスマホが世の中を変えていくトリガーになる事には間違いありません。スティーブジョブズは此処まで考えを馳せ、このスマホを生んだのかは定かではありませんが、ジョブズの思いを遥かに超える広がりを見せています。

特に中国のeコマースに代表されるように、デジタル技術が今までのアナログ的な進化の過程をジャンプさせる力を秘めています。2020年には中国全体の一般消費の24%近くがeコマースになるという予測さえあるほどです。シンガポールも含めアジア各国にも、その波はあつという間に来ることは間違いありません。eコマースの要諦は①インターネットの普及(スマホ普及)②ペイメントシステム③ロジスティックの3点に集約されます。

この事を考えるとスマホという個人端末の普及がすべてのベースにあり(今や東京とアジアの都市部でのスマホの普及率に大きな差がない)、ペイメントシステムはお金(現金)さえも駆逐する勢いがあります。このことがBRICSの中国で急速に進化している事に興味深さをおぼえます。

また、2020年にはスタートするであろう第5世代通信(5G)が大きな変化を生み出す様相を呈しています。特徴は現在の4Gとの比較において、高速(1000倍)、大容量、低遅延など、IoTや自動運転などの世界を加速させるものであります。

このような、世の中の様々なシーンで大きな変化、パラダイムシフトが起きる事で我々は益々便利になり、考えようによっては自らの時間を創り出す事が可能になってきます。

また数年前まででは考えられなかったような事柄が、今まさに現実となって我々に迫ってきます。トランプ大統領の誕生、北朝鮮の核問題、イギリスのEU離脱、スペインのカタルーニャ問題など枚挙にいとまがありません。

しかしながら、そのような変化に左右されず、我が心の内をしっかりと持つ事を求められていると感じています。この様な世の中であるからこそ、心豊かに生きていきたいと多くの方々が望んでいるのではないのでしょうか。

世界遺産であるボタニックガーデンによく妻と散歩に出かけます。小さな国土の市街地の真ん中の緑のオアシス。シンガポールならではの、様々な国の方々がジョギング、散歩、体操(太極拳など)を楽しんでおられます。言葉も人種も違う方々が求める憩いの場。地球は一つだと、改めて感じさせてくれる場もあります。

思い切り緑の中で空気を吸い、散歩する事でリフレッシュできます。日々変化を感じ、ストレスの多い社会ですが、変化を楽しみ、パラダイムシフトを恐れるのではなくワクワクしながら楽しむ。そんな一年にできたらと思っています。

末筆になりましたが、本年も会員の皆様にとりまして素敵な年になります事を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



新年にあたり想うこと

シンガポール日本商工会議所 理事
THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, LTD
General Manager, Singapore Branch

松本 真吾



新年、明けましておめでとうございます。シンガポール商工会議所会員の皆様におかれましては、2018年の新春を健やかに迎えの事とお喜び申し上げます。

2017年7月に当地に赴任して参りましたが、欧州での海外駐在が長かったため、振り返ると海外で迎えるお正月は今年で13度目になります。直前まで赴任しておりましたロンドンでは、お正月の頃は街全体が薄暗く、冷たい風と雨の日が続くなど、正に「冬」の毎日でした。そうした季節の移り変わりを感じるにつれて、年末年始の雰囲気醸され、心持ち新たに新年を迎えたように思います。

ところ変わってシンガポール。この国で初めて迎える年末年始は、お正月らしからぬ温暖な気候のおかげか、それともシンガポールという国の雰囲気、またはそれを作り出すシンガポールの皆さんの人柄か、非常に穏やかなお正月という印象を受けています。常夏の太陽の下を急ぐサンタクロースや、プールサイドでのクリスマスパーティーなど、改めて世界の多様さを身をもって実感しています。

さて、今般のシンガポール赴任では約10,000kmを東に向けて移動して来たわけですが、実感としてはそれ以上に日本との距離が縮まったと感じています。

この半年間、お陰様でシンガポールの様々な「顔」を見る機会に恵まれました。日本人や日系企業の方々が活躍される場面を目にし、技術や文化はもとより、日本食をはじめとして人々の生活に密接に関わるものまで幅広く「日本」というものがシンガポールに受入れられ、浸透している事実が驚いています。特筆すべきは、それが決して一方通行ではなく、双方向型の「コミュニケーション」として成立している点ではないかと思えます。我々のような日本からの赴任者や旅行者のみならず、シンガポールからの旅行先としても日本は非常に人気が高く、人々の往来も益々増加して

いると伺っています。

日本とシンガポールの友好関係は、ひとえに先人の弛まぬ努力、相互理解の促進がもたらした結果築き上げられたものであり、そうした側面に触れる度に、歴史を引き継いだ者の一人としての責任を全うしたい、と改めて身の引き締まる思いです。

もうひとつ、私がシンガポールに来て感銘を受けた事をご紹介します。この国の「学び、歩み続ける姿勢」です。建国僅か50余年でここまで成長を遂げてきたにも関わらず、現状を最良とせず、更に良いものを求めて自ら変化を追い求める気概を節々で感じています。業種柄、「FinTech」に関連した政府やシンガポール通貨監督庁、シンガポール銀行協会の取り組みに触れる機会が多くあります。アジアの金融ハブとしての確固たる地位に甘んじる事なく、最先端のテクノロジーを駆使したスマート・ネーション構想に基づき、着々とプロジェクトを進捗させ、怯むこと無く新しきに挑戦していく姿にシンガポールの強さの理由を垣間見た気がします。

迎えた2018年、弊社シンガポール支店は開設から61年目を迎えます。近年では、FinTech研究開発拠点と位置付け、BlockChainをはじめとする新テクノロジーの金融分野への転用について研究を積み重ねております。こうした先端技術が成熟したシンガポールの金融産業の新たな強みとなり、シンガポールをアジアのみならず、世界の金融ハブへと導くものと確信しています。弊社としましても、シンガポール政府を始めとする関係者との素晴らしい協力関係のもと、微力ながらシンガポール、日本、そして世界への貢献を果たして参りたいと思えます。

末筆ではございますが、2018年が会員の皆様にとって実りある素晴らしい一年となります事を心より祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



コミュニケーション

シンガポール日本商工会議所 理事
TOKIO MARINE INSURANCE SINGAPORE LTD
Managing Director

石井 誠



皆様、新年明けましておめでとうございます。シンガポール日本商工会議所の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年10月、弊社CSR活動の一環で、地元の様々な事情により恵まれない境遇にある10歳前後の子供達とピザづくりをしていた時のこと、我々との会話は流暢なシングリッシュ、子供達同士の会話は時折各々の母国語を交えての賑やかなものでした。シンガポールの子供達は、この年齢にして、既に複数言語を用いて生活ができることに、自らとの比較において強烈な驚きと羨ましさを感じました。幼少期においては、「単に会話ができる」というだけではなく、複数言語（原語）での読書の機会にも恵まれることで「より幅広い、深い思考力」も養われるものと思います。これも現在のシンガポールが持つ強みの一つなのかもしれません。

一方、自らの現在の状況を振り返ると、昨年4月に当地に着任して以来、日本本社が掲げるグローバルコンセプトの浸透に四苦八苦しているのが実態です。無論、これは本質的には言葉の問題ではないのですが、様々な活動のプロセスにおいて自らの英語力の稚拙さに愕然とする局面がいかにも多いことか…。特に文化やコンセプトは、懇切丁寧に、相手の理解度合いに応じて、例え話を交えながら議論を重ねていきたいと思う反面、残念ながら現実の英語力とのギャップは非常に大きいと云わざるを得ません。「外国語力はあくまでサポートツールの一つ」ではあるものの、やはり人生における至福の一つであろう「心の通ったコミュニケーション」を実現するには言葉の習熟度合いが高いに如くはないことを、お恥ずかしながら、今更ながら強く感じているところです。

シンガポールの方々は頻繁に「生き残っていくためには…」という非常に強い覚悟を感じさせる単語をお

使いになる印象を持ちます。現在の言語政策も生き残っていくために不可欠なツールの一つとして、当たり前前の「ビジネスマナー」として捉えておられるからこそ、一種の余裕のような雰囲気を感じるのかもしれませんが。

日本は、天然資源に恵まれず、自然災害が多発する極めて厳しい環境と戦い続けながら現在に至っています。ひょっとすると「第二言語に苦勞しない社会システムの構築」も乗り越えなければいけない大きな課題なのかもしれない、と自らの無能さをよそにつらつらと思いつらしています。日本人同士であっても、日々「正しく伝えること」の難しさを実感しますが、日本人が当たり前前にシンガポールの方々とも「おもてなしの心に溢れ・奥ゆかしさも保ち・その特性を流暢なシングリッシュで表現しながら」心を通わせての本音のコミュニケーションを実践できれば更に相互理解が進むものと期待しています。

末筆ではございますが、本年が会員の皆様及びご家族にとりまして素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



成年の雑感

シンガポール日本商工会議所 参与
JETRO SINGAPORE
Managing Director

石井 淳子



新年おめでとうございます。

昨年は年始に酉年は商売繁盛、収穫の年で縁起も良いとお話を多く伺いました。そうした状況が一転、今年の干支・戌の字が表す意味は「滅」と聞き、遂にミサイル？保護主義が更に進み、世界中の経済連携の枠組みにヒビ？世界のパワーバランスが更に崩れて日本のプレゼンスは…と心配になったものの、考えれば昨年ほど世の中が大きく変化し、驚きのニュースが流れた年も珍しかったので、今更驚くこともないかと思いを直しました。

社会人になり、昨年9月に赴任するまでずっと開発途上国との貿易を促進する仕事をして来ましたが、30年ほど前のシンガポールはその事業の対象国でした。主だった支援産業がない中、世界の切手や写真集の印刷を請け負う企業のグループを受け入れたことがあります。日本企業への売り込みのお手伝いをしたわけですが、日本はスローで効率が悪い、もっと実のあるビジネスの話がしたい、と強烈なシングリッシュでまくし立てられ、この国に対するほんやりとした苦手意識につながっていました。インドからもよく受け入れを行いました。彼らの英語の方がよほど分かりやすい、と思ったものです。早口で訛った喋り方にも少し慣れ、最近ようやく集中すれば理解できるようになって来ました。

ほどなくして、シンガポールは途上国とのビジネスを開発する部署から姿を消しました。この国はその後成長を遂げ、外国人も増え、JCCIの会員企業も10年間で300社近くも増えました。当初事業の対象だったASEAN5カ国は倍の10カ国に発展、昨年50周年を迎え今年議長国となった当国では多くの関連会議や行事が行われる予定です。何でもスピーディーで効率性を重んじる環境は仕事をする上でも大変ありがたく、安全な点も嬉しいのですが、ふと十数年前に赴任したフィリピンでの生活を思い出すことがあります。

かの国は政治的な混乱を経て飛躍しましたが、どことなくおっとりした、人間味あふれるアジアのラテン国。当時の日本人仲間は皆戻りたい、と言います。先般、帰任以来のマニラ出張があり、息子たちと苦楽を共にした3年半を思い出しました。残業後、皆が寝静まった自宅に戻り、小学生2人の宿題を見ながら取る遅すぎる夕食。週末は塾に連れて行き、合間を縫ってオフィスへ。平日は、時間休を取得しての保護者会。相当キツイ毎日でしたが、生活の中で地元の人々と交わる機会も多くあり、道端で花を売る少年とも知り合いになって、そこに住まわせてもらえる喜びと感謝の気持ちを強く持つようになりました。車を借り上げ、子連れで山奥まで世界遺産の棚田を見に冒険した時も、地元の人々との出会いがあり、電気もない地域で夜空に浮かぶ満月を愛でました。夜は真っ暗になる家に住む女性は、以前マニラの金融街でOLをしていたとのこと。星明りの下、高床式の一間で自然と共に家族で暮らす幸せ。それが一番人間らしい、と田舎に戻って来たそうです。日中は鶏がそこら中を駆け回り、豊かな表情の子供たちの横で女性は米を搗いてザルで粃殻を取っていました。

先進的な国と、そうあろうとしながら、まだゆっくり感が残る国を眺めてみると、欠点はありつつもそれぞれにユニークな良い点が見つかります。

「戌」は「滅：草木が枯れている様」を表わすようですが、草木を糧に新しい芽が育つ土壌という意味もあるなら、今年は商売が繁盛した酉年後のフォローアップや次の新しい事業を始める整地期間と考えてもいいのかもしれません。アップダウンが交互に来る年とする説もあるので、自分も良い点、欠けている点を見極めながら進んでいきたいと思えます。

本年が皆様にとり、新たなものを生み出す良いスタートの年となりますよう。

2017年を振り返って

第1工業部会 部会長
SUMITOMO ELECTRIC AUTOMOTIVE PRODUCTS (SINGAPORE) PTE LTD
Managing Director

白川 敏美



2018年がスタート致しました。皆様にとりまして、今年も希望に満ちた明るい年になります様心からお祈り申し上げます。私はシンガポールで3度目の新年を迎えることとなりました。気持ちも新たに今年一年を大切に過ごして行きたいと考えております。昨年4月に第一工業部会の部会長を仰せつかり、会員の皆様並びに事務局の御支援により何とかここまで務めさせて頂いております。改めて関係者の皆様に感謝申し上げます。本年も一層の御支援を宜しくお願い申し上げます。

昨年の第一工業部会総会に於いて会員の皆様方から多くの貴重な御意見・アドバイスを頂戴し、それらを参考に活動の一層の活性化を図るべく、また会員相互の懇親と皆様の事業活動のお役に立てて頂くべく、他の部会との共催も含め、昨年は多くのイベントを開催して参りました。

【恒例のゴルフコンペ】まず何と言っても会員同士の事業活動からプライベートまで打ち解けた雰囲気情報交換と対話が出来、ビジネスチャンス創出に大いに役立っていると捉えているこのイベントは、四半期に一度の頻度で行っており、昨年は6月と9月、12月に開催致しました。積極的に御参加頂いていた方々が御帰国や御栄転で当地を離れられるケースも多く、後任の方々を御紹介頂く絶好の機会ともなっております。本年3月にも計画しておりますので多くの会員ゴルファーの御参加を期待しております。

【懇親会】ゴルフをされない方々にも同様に懇親と情報交換を行って頂くべく、昨年は7月に懇親会を開催致しました。参加会員の近況や生活情報など耳寄りな話しで楽しい時間を共有いたしました。

【視察会】6月に「ロールス・ロイスシンガポ

ール工場視察会」、9月に第二工業部会、運輸・通信部会との共催で「シンガポール建築物・風水視察会」、建設部会との共催でMRT「トムソンラインT207工区現場見学会」、10月に貿易部会、金融保険部会、運輸・通信部会、観光流通サービス部会との共催で「PSA インターナショナル・港湾施設視察会」、第二、第三工業部会、貿易部会との共催で「ヤクルト・シンガポール工場視察会」、11月に第二、第三工業部会との共催で「NEWater Plant 視察会」を開催致しました。会員の皆様への幅広い情報提供の場となったものと思います。本年2月には「シンガポール史跡ツアー」を計画しておりますので、積極的な御参加を宜しくお願い致します。

さて、私が所属する自動車部品業界の動向について、顧客である自動車業界の動きを中心に御報告申し上げます。新聞をはじめ多くのメディアで頻繁に報道されておりますので御存知の方も多いと思いますが、この業界は100年に一度の大変革の時代と言われており、①パワートレイン、②自動運転、③コネクテッドカー、④モビリティサービスの四つが業界の今後を探るキーワードとなっております。

①は環境問題により、従来のエンジン（ガソリン、ディーゼル）からモーターを使ったHEV（エンジンとモーターの併用）、EV（モーターのみ）、PHV（HEVに充電機能を持たせたもの）、FCV（水素燃料電池車）へシフトしつつあります。2015年に発生したVWのディーゼル不正問題がこれに拍車をかけました。EV、PHEVへの移行は間違い無く加速して行きますが、今後いつ頃にどの様な構成になって行くのかは予測が難しいところです。フランス、英国では2040年までにガソリン車等の販売

を禁止すると宣言されており、最大市場の中国も同様な方向です。EV化が起こると自動車の部品点数は約30%減少すると言われており、従来のエンジン関連部品を生業としている部品会社はビジネスのネタが無くなることにもなり深刻な問題です。また、異論もありますが、EVはモーターとインバーターと電池があれば、事業採算は別として、誰でも作る事が出来ると言われており、パソコンの様にモジュール化が進み従来の自動車業界以外からの新規参入を促し、業界の地図が激変するとも言われています。現在の多くの専門家の意見としては、EV、PHV、FCVそれぞれに一長一短あり、また、自国技術の育成やエネルギー政策による政治的な規制などにより、当面（今後数十年）は地域・用途・市場別に多様な動力源の車が生産されると予想されています。日本ではエネルギーの自給率向上も狙い水素を燃料とするFCVも政策的に推進されています。また、今後の動向を大きく左右する決定的な要素として電池のコスト低減と性能向上がカギであるとも言われています。どの方式にしても充電設備や水素ステーションなどのインフラの整備も必要であり、それぞれの国の政策の方向性が大きく影響してきます。

②はそのステージによりレベル1から5迄5つのレベルに分類されています。現時点ではレベル3（条件付自動運転）の車を欧州メーカーが今年発売する予定と報道されています。この自動運転には高度な地図情報や人工知能も必要であり、IT・ネット関連の大手企業も研究開発を積極的に推進しています。レベル3あたりから法律の整備も必要となり、普及には少し時間がかかるのではないかとの専門家の意見もあります。自動運転システムには自律型と外部協調型（ITS：高度道路交通システムなど外部からの情報で制御するもの）並びにそれ等を組合せる方式があり、外部協調型ではITSなどのインフラ整備が必要となります。インフラ整備の進展状況により実用化には地域・国別に相当差が出てくるものと思われます。どちらにしても自動車には従来とは比較にならない高性能なコンピュータや電子機器を搭載することとなり、EV同様に新規の専門メーカーの参入が見込まれます。

③は、IoTで代表されるように全てのものがネットで結ばれる世界で、自動車もネット等外部と常時接続され、交通情報などに留まらず車の管理や生活に必要な情報をタイムリーに入手し自動運転と組合

せ、車の利用がどんどん高度化して行きます。ここにもスマホやパソコンで培われた技術やソフトウェアが応用され、それらに強みを持つ企業のビジネスチャンスが増えて行き、従来の自動車産業のプレーヤーが変わって行くことは間違いありません。

④は、UBERやGRABなどのライドシェアの様なサービスで、これが進展していくと個人が自動車を所有すると言う考えから利用すると言う考えに変わり、自動車が売れなくなり（稼働率向上による寿命短縮で爆発的に売れるとの見方もある）、自動車産業は完成車を提供するだけでなく、サービスを提供していかなければジリ貧になってしまう恐れがあります。このサービスの進展は我々部品メーカーにとっても影響が大きく、注視していかなければなりません。

以上の様に私どもの業界は今大きく変動しており、従来からの延長線上と新しいビジネスの両睨みで対応していかざるを得ない大変難しい時代であると認識しております。この様ななかASEANでの自動車産業政策はタイ、インドネシアがEVを積極推進するとしていますが、やはり当面は排ガス規制と低燃費が依然として規制のキーワードとなっており、エンジン車がベースとなっています。しかし、EV技術とインフラ整備の進展次第では当地域でも戦略の見直しが必要になるものと思います。

最後になりましたが、本年も当地で事業展開を進めて居られる会員各社・皆様への情報提供、人脈づくりなど幅広くお役に立てる様、残り僅かな任期ですが、努力してまいりますので、なにとぞ宜しく御指導の程お願い申し上げます。

2018年を迎えるにあたり

第2工業部会 部会長
MITSUI CHEMICALS ASIA PACIFIC, LTD.
Managing Director

木下 雅幸



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、様々な希望を胸に新しい年を迎えられた事と思います。個人的な話で恐縮ですが、昨年4月に人生初めてのシンガポール駐在となりました。これまでの会社生活において経験した約2年のアルジェリア、6年半の上海における海外駐在とは全く異なる雰囲気での生活を堪能し始めた8ヶ月だったように感じています。

昨年を振り返ってみますと、世界ではトランプ米国新大統領就任・TPP及びパリ協定からの離脱宣言、英国のEU離脱正式通告、各国で繰り返されるテロ、北朝鮮のミサイル連続発射、中国における習均平体制の強化等、これまでのグローバリズムからナショナリズムに流れが変わったように見えます。日本国内に目を転じると、都知事選・都議会選圧勝で吹き荒れた小池旋風、衆議院総選挙での自民党の圧勝等、政治の世界では変革と安定のはざままで揺れ動き、スポーツ界では、日本陸上界初の100M9秒台突入、世界陸上での男子400Mリレーでの銀メダル獲得、ゴルフでの松山英樹の活躍等、2020年の東京オリンピックに向け若手の台頭が感じられる、そんな悲喜こもごもの1年ではなかったでしょうか。

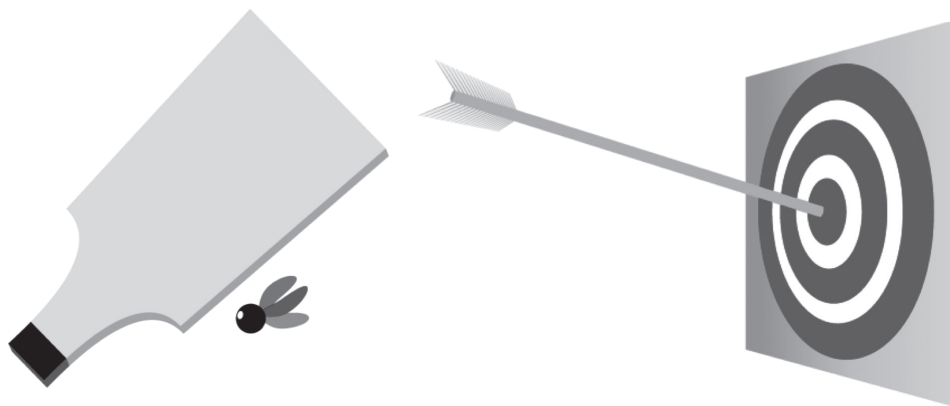
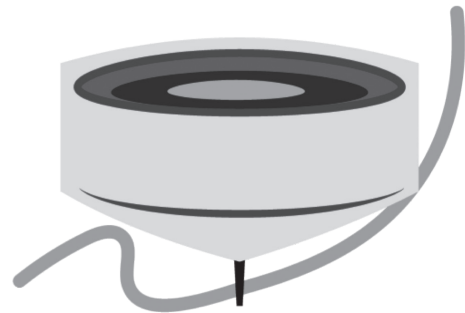
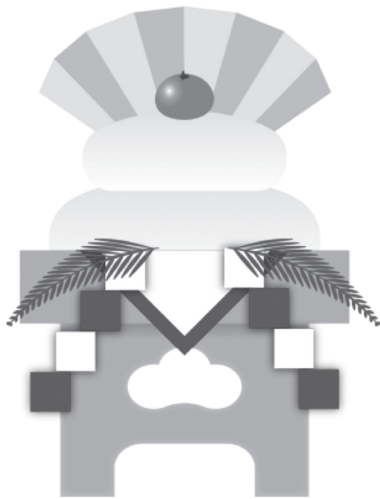
さて2018年は干支でいうと「戊戌」です。「戌」は「草木が繁盛して盛大になる事」、「戌」は「草木が枯死する事」を表しており、そして同じ性格の組み合わせになる事を「比和」と言い、「勢いが増す」と言われているそうです。従って2018年は一方が枯れて一方が盛大になる、つまり「変化」。その「変化が勢いを増す1年」と言えるのかもしれませんが。因みに干支は「干」と「支」の組み合わせで全

部で60種類あります。60年前の1958年は、皇太子・美智子様のご婚約、東京タワーの完成、「即席チキンラーメン」の発売、フラフープの大ブーム等、新しい時代の息吹を感じる出来事が起こっています。2018年も60年前と同様に「変化」を起こす為には既存のルールや慣習に拘らず、新しいことにチャレンジしていく事が必要なのかもしれませんが。

リー・シェンロン首相は昨年8月の施政方針演説で、就学前教育の充実、糖尿病対策、スマート国家の建設という3点を今後の重要課題に掲げました。GDP成長率が約2%とASEAN各国の中でも低めに推移する中で、シンガポールも持続的発展に向けての変革を志向しています。我々第二工業部会の各社にとっても、賃金の継続的上昇や2019年からの炭素税導入決定等、必ずしも追い風が吹いている環境ではありませんが、IoTの推進や更なる業務効率化等の「変化」を取り入れながら、次代への新たなステップを踏み出すことを念頭に置く必要があるかと思われま

す。昨年第二工業部会では他部会のご協力も得ながら、シンガポールの歴史・文化を肌で感じ取るものや、異分野の企業同士の交流等を中心に積極的に行事を行いました。今後も3月末までに、在星日系医薬企業団体との交流会や史跡視察会等を予定しており、これらの活動が業種の垣根を越えたネットワーク構築の一助になればと考えております。

最後になりましたが、本年が会員企業の皆様にとって充実した素晴らしい1年となります事を祈念致しております。



プラントにおけるサイバーセキュリティの重要性

第3工業部会 部会長
YOKOGAWA ELECTRIC ASIA PTE LTD
Managing Director

小澤 仁司



会員の皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。私もシンガポールでのお正月は3度目となり、温暖な気候の中での生活にも慣れてきました。

第3工業部会会員企業様の業種は多岐に渡っておりますが、本稿ではプラントにおけるサイバーセキュリティの重要性とその取り組みについてご紹介させていただきます。

サイバーセキュリティといえば、2015年に日本年金機構に対し外部から「標的型攻撃メール」が送られ、その結果年金管理システムに管理されていた多くの個人情報漏洩した事件は人々を驚かせました。また、昨年も WannaCry と呼ばれるランサムウェアがマスコミで話題になりました。

一度大きなセキュリティ事故を起こした企業はセキュリティの重要性を理解し、2度と同じ失敗を繰り返さないようにセキュリティ投資に積極的になります。セキュリティ事故は企業や社会に大きなマイナスのインパクトを与えます。自ら経験したセキュリティ事故がきっかけになり、経営における最重要課題の一つとして取り組む企業が増えています。

一方、大きなセキュリティ事故を経験していない企業はどうでしょうか。サイバーセキュリティへの投資にはまだ消極的に見えます。毎日のようにセキュリティ事件・事故が紙面ににぎわっており、企業の評判や企業価値の急落、被害にあった顧客からの集団訴訟、さらにはCEOが辞任に追い込まれた事実が報道されているにもかかわらずです。しかし事故が起こってからでは、取り返しのつかないことになります。

我々のお客様は装置産業の企業様が多いのです

が、業界全体で見ますとセキュリティ対策が十分でなく、危機管理の項目にも挙がっていないという報告があります。ウイルスに感染してプラントが1週間停止となり、完全復帰するまでに1ヶ月かかったという話も耳にします。そのような結果、プラント停止期間に生産できないロス、復旧にかかるロスをあわせて10億円規模に膨れ上がる場合もあります。反社会勢力が、企業の株価操作を目的にターゲットとなる企業の装置の脆弱性を攻撃するといった話も聞かれます。すでに国家間の紛争に関連して特定の設備がサイバー攻撃を受けたという報告もあります。

こういった状況に対し、日本においては2009年に内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）が重要インフラのセキュリティ向上を目的として、セプターカウンシル1)を設立しました。これを受けて経済産業省では、さまざまな活動を開始しました。たとえば、2011年には制御システムセキュリティ検討タスクフォースを立ち上げ、国内の重要インフラに対するセキュリティ対策の強化を推進しています。また、2015年にはサイバーセキュリティ経営ガイドラインを策定しました。

また、ここシンガポールにおきましても、2017年にCyber Security Agency of Singapore (CSA)よりガイドラインのドラフトが発行されています。

－横河電機の取り組み－

横河電機が考える制御システムに対するセキュリティ対策の方針は2つの柱からできています。1つはライフサイクルアプローチ、もう一つは多層防御です。日々新たなサイバー攻撃が発生し、セキュリティの脅威が継続的に増加している状況において、導入したセキュリティ対策の効果は徐々に薄れていきます。このため、導入したセキュリティ対策を常

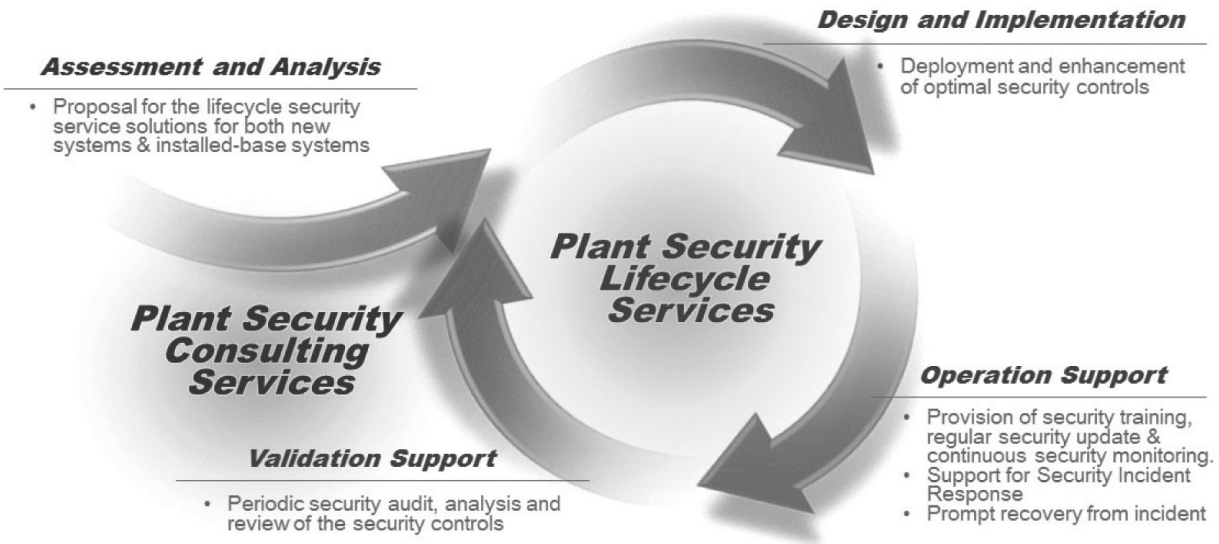


図1 ライフサイクルアプローチモデル

にメンテナンスし、定期的に見直していく必要があります。横河電機では図1に示すライフサイクルアプローチにしたがい、製品の開発から始まり、システムインテグレーション時のセキュリティ対策の実装、運用時のセキュリティ管理まで、お客様のセキュリティ活動をライフサイクルにわたりサポートしています。このライフサイクルを考慮したセキュリティ活動により、お客様は常に最適なコストで、戦略的にリスクを低減できます。

し、制御システムのリスクに対する予防と備えを万全にすることが望ましいと思います。

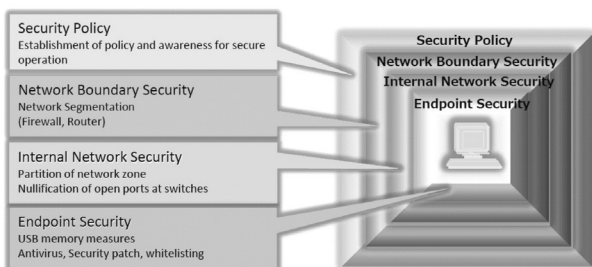


図2 多層防衛モデル

加えて、横河電機では図2に示すようにセキュリティ対策導入指針として、多層防御（Defense-In-Depth）戦略を推奨しています。その戦略において、最も重要なことは安全の確保です。次に生産活動に必要な制御の性能、その基盤である制御システムの健全性を保つことが重要です。加えて、セキュリティの技術対策、運用対策、管理対策を実施すべきと考えています。

これらをライフサイクル活動により継続して改善



図3 シンガポールのセキュリティラボ

横河電機はシンガポールで2008年より Security Competence Laboratory を設立し約10年にわたり制御システムに対するセキュリティについて研究と標準化を行ってまいりました。（図3）お客様のプラントライフサイクルにわたって高度で安全な運転の実現を目指し、横河電機はお客様と一緒に歩んでまいります。

<注釈>

- 1) 重要インフラのセキュリティ向上に向けた分野横断的な情報共有のための協議会。

2018年 新たな年に向けて

貿易部会 部会長
ITOCHU SINGAPORE PTE. LTD.
EVP & Chief Financial Officer

堀内 文隆



会員の皆様 新年、明けましておめでとうございます。

2017年は世界の政治、外交にとって前年に引き続き不確実性に左右された一年となりました。米国第一主義を掲げ発足したトランプ政権は、自国産業保護を目的にTPPからの正式離脱に関する大統領令に1月に署名、アジアを含む他の環太平洋諸国は米国抜きでのTPPの早期実現へと方針転換を迫られました。しかし内向き志向を強めた米国自身も、政権内での相次ぐ主要ポストの解任や、トランプ氏の大統領当選の原動力となった移民規制の強化を巡る発言等で求心力は低下し、政権公約であったインフラ整備等の財政拡大や、法人税率の引き下げを中心とする税制改革等の国内施策の推進は難航しています。また米国外に目を向けますと、シリアのイスラム国を巡る中東情勢は最終局面を迎えつつも未だ展望が描けない中、北朝鮮の度重なるミサイル発射、国際平和に対する挑発的行為は極東アジアにおける地政学的リスクを一気に高め、今なお先行き不透明感の強い状態が続いています。世界が多極化する中、こうした不確実性の顕在化は实体经济だけでなく株安、ドル高、商品市況の変動等様々なチャネルを通じ、アジアの事業環境にも大きな影響を与えました。

しかしながら、前述の政治的、外交的不確実性を抱えながらも、世界経済は安定成長を継続しています。IMFの予測、推計によりますと、失業率が過去最低水準にある中堅調な景況感が続く米国、極右勢力の躍進が警戒された中5月に仏大統領選を消化し政治リスクが減少、循環的な回復過程に入った

ユーロ圏、日本銀行による強力な金融緩和をベースに着実に改善を続ける日本の3主要国・地域の2017年のGDP成長率は、低成長ながら1～2%に達したと推測されています。また、よりアジアにフォーカスしますと、中国は過剰生産能力の解消に向けた努力等が寄与し6%台後半、インドは紙幣、税制改革後に経済活動の一時的鈍化から回復し7%程度、ASEAN 5（インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）も世界貿易と国内需要の伸びが寄与し5%程度と、いずれも堅調な伸びとなった見込みです。アジア経済は、様々な不確実性が局面を変え顕在化する中、基礎的な成長トレンドを維持できている事が伺えます。

さて、シンガポールにおいては昨年8月、リー・シェンロン首相が施政方針演説で、同国の成長率は2.5%程度が見込まれる事の他に、長期的視点で取り組むべき課題として、①就学前児童向け施設の定員拡大等「就学前教育の充実」、②国内飲料の糖質濃度に上限を設ける等「糖尿病対策」、③街灯に監視カメラ映像や各種センサーによる情報伝達機能を持たせる等「IT国家（スマートネーション）構想」の3施策を発表しました。日本の知育ビジネス、健康を意識した食品ビジネス、ITソリューションビジネスのみでなく、その他幅広い裾野産業にとって、これらの施策はゲームチェンジャーとなる可能性があります。

中国では昨年10月、5年に1度の中国共産党大会が開催され、習近平総書記は建国から100年となる21世紀半ばまでに、経済、軍事、文化など幅広い分野で米国と並び立つ「現代化した社会主義強国」

となる長期構想を表明しました。“一帯一路”構想、習氏自身への権力集約は、中国の価値観が認められる勢力圏を築くことで、自由や民主主義を柱とする米国主導の国際秩序との対立軸をより鮮明に打ち出した感があります。

そうした中、日本においては同じく昨年10月の衆議院解散総選挙で自公連立政権が圧勝、安倍首相の続投が決まりました。これにより、金融政策面では今年3月で任期満了する黒田日銀総裁の再任、大規模金融緩和の継続が期待され、株価も高水準を維持しています。一方、与党が3分の2議席を獲得した事で憲法改正発議が可能となりました。自民党は選挙公約として憲法第9条に自衛隊を明記する案を提起しています。市場は金融政策を織り込む事には慣れていますが、Brexit後や米国大統領選後がそうであったように、不安定な政治的要素を織り込む事は非常に不得意と感じています。北朝鮮の脅威が日増しに高まる中、仮に改正が決議され国民投票が実施された場合、戦後の日本を巡る国際秩序は歴史的イベントを迎える可能性があります。どのようなリスク・シナリオの蓋然性が高まるのか、予断を許さないでしょう。

リーマンショック、欧州債務危機を経て、先進国を中心とする低金利政策が長期に渡りアジア地域への資本流入を促し、地域経済を下支えしてきました。反面、米国による金融政策の正常化がゆっくりと進むことに加え、シンガポールを含むアジア経済は、その貿易の開放性、グローバル・バリューチェーンへの統合により、保護貿易主義の影響を受け易い事も指摘されています。当地で様々なビジネスを展開される商工会議所の会員の皆様におかれましては、こうした不確実な状況を乗り越え、シンガポールやアジアの経済成長を捉え、今後益々発展されます事を祈念しております。本年も会員の皆様にとって幸多き一年となりますようお願い、新年の挨拶とさせていただきます。

7の年を振り返って

金融保険部会 部会長
SOMPO INSURANCE SINGAPORE PTE. LTD.
Managing Director

高橋 幸嗣



会員の皆様

新年明けましておめでとうございます。

1987年10月19日、ニューヨーク株式市場で起きた「ブラックマンデー」、1997年、タイの通貨バーツがヘッジファンドによる投機的な売りにあって暴落したのをきっかけに発生した「アジア通貨危機」、2007年、米国でのサブプライムローンの不良債権化、同証券化商品の価格下落、信用収縮、翌年のリーマンショックへと続いていった「サブプライムローン問題」、と、これまで10年ごとに「西暦末尾7の年」にはさまざまな重大な事件、問題が発生し、世界経済・マーケットは大きな影響を受けてきました。

2017年もまたその「西暦末尾7の年」であり、同様に重大な事件、問題が発生するのではないかと懸念する向きも少なくなかったようですが、これまでの30年とは異なり、2017年は、世界を揺るがす経済事件、問題が引き金となって市場の大きな下落に至る、というようなシナリオにはならなかったようです（少なくとも本稿執筆時点では。。。）。

しかしながら、世界を揺るがす事件、問題自体がなかったかと問われれば、むしろ2017年は事件、問題の多かった年であったとさえ考えられます。その結果、2017年はこれまで以上に「リスク」というものを意識させられる年になったのではないのでしょうか。

一昨年11月の衝撃の大統領選挙を経て、2017年1月、トランプ第45代米国大統領が就任しました。トランプ大統領は就任直後にTPP離脱を表明、その他にもイスラム教国出身者の入国禁止や地球温暖化対策の国際枠組みであるパリ協定からの離脱など多くの混乱を招きました。また10月には大統領選でトランプ米大統領の選挙陣営で選対本部長を務めていたポール・マナフォート氏らがロシア疑惑で起

訴されるなど、今後の政権運営がますます不透明な状況となっており、最も予測不能な大統領ともいわれるトランプ政権における政治リスクは引き続き高いと言わざるを得ません。

5月のフランス大統領選挙では極右・国民戦線のルペン氏が多くの支持を集め、Brexitに続いて一時はEU崩壊の危機が叫ばれました。結果、決選投票では中道系無所属のマクロン氏が勝利しましたが、その後、支持率は急低下し、不支持率を下回る状況となりました。また9月のドイツ総選挙では、メルケル首相率いるキリスト教民主同盟（CDU）と、その姉妹政党であるキリスト教社会同盟（CSU）が第1党を維持したものの、議席数は1949年以来最低となり、一方で反イスラム・難民、反ユーロ（欧州単一通貨）を叫ぶ極右政党「ドイツのための選択肢（AfD）」が12.6%の得票率を獲得し第3党となる予想外の展開となりました。これはユーロ圏に対する懐疑的な感情が域内に依然根強く残っていることを表すものと考えられ、今後、反EUの声がさらに高まる恐れや、2018年5月までに総選挙が予定されるイタリアでのポピュリスト政党「五つ星運動」の台頭を考えても、欧州における政治リスクはくすぶり続けていると言えます。

北朝鮮では、2月から9月まで毎月、計14回19発のミサイル発射が行われ、うち2回は日本上空を通過して太平洋上に落下しました。キム朝鮮労働党委員長とトランプ大統領との激しい表現による威嚇の応酬に米韓合同軍事演習なども重なり、朝鮮半島を取り巻く地政学リスクは非常に高まっています。

また中東やアフガニスタン、パキスタン等に加え、2017年は欧州でも多くのテロ事件が発生しました。ロンドン、ストックホルム、バルセロナでの自動車暴走、ドルトムント、マンチェスター、ロン

ドンでの爆破、パリでの銃撃等々、多くの人々が犠牲となる事件が数多く発生し、改めて予測不可能なテロのリスクを強く認識する年となりました。

異常気象はあたかも年々激しさを増すかのようには、ハリケーン「ハービー」「イルマ」が米国メキシコ湾岸地域を遅い、インド等南アジア地域では1000人以上の死者を出す大洪水が発生し、日本も台風18号等で甚大な被害を受けるなど、異常気象、自然災害のリスクは世界中で高まり続けているように見えます。

そのような状況の下、世界的な金融緩和を背景に、ニューヨーク株式市場ではダウ工業株30種平均、S&P500種株価指数が過去最高値を更新し続け、日経平均株価は過去最長となる16連騰を記録し26年ぶりの高値を付けるなど、マーケットは大きく上昇しました。

皆さんご存知のとおり、ファイナンスの世界における「リスク」とは一般的な意味での「リスク」と異なり、期待値からのばらつきを指すため、マイナス方向だけではなくプラス方向のばらつきも含んだ概念になります。その意味では、このような2017年のマーケットの動きも、まさにリスクが発現したと言えるのかもしれません。

また、米国の中央銀行に当たる連邦準備制度理事会（FRB）は9月の連邦公開市場委員会（FOMC）で、2008年のリーマン・ショック後の金融危機対応として大量の資金を市場に供給するために買い入れた、国債などの保有資産の縮小を開始することを決めました。また欧州中央銀行（ECB）は10月に開いた理事会で、月額600億ユーロとしている債券買い入れの規模を2018年1月から月額300億ユーロに半減する量的緩和策の縮小を決定し、約3年前に導入した異例の緩和政策の解除に乗り出すことを決めました。これは、ここまで行われてきた、金利操作に代わって資金量の調節で景気下支えを目指した異例の政策が正常化への転換点を迎えていると言えます。これまで経験したことのない異例の緩和策の後の、これまた誰も経験したことのない「その後の」世界をこれから迎えようとしていることにほかなりません。これもまた予想が付かないという意味ではリスクは非常に大きい、と言えるでしょう。

技術の進歩は指数関数的に速度を増し、仮想通貨、フィンテック等々、金融・保険をめぐる新たな試みは日進月歩です。考えも付かなかったようなサービスが数年後には実用化されています。さらに

は自動車も電気自動車に取って代われ、自動運転車が徐々に実現されつつあるように、世の中の枠組み自体が大きく変わろうとしています。これもまた従来路線の延長という期待値からの乖離や結果のばらつきと捉えれば「リスク」かもしれません。

ただ一方で、「リスク」は、「チャンス」と隣り合わせであるとも言えます。不確実性が増す時代にこそ、本来金融・保険に求められる社会的意義というものがより重要性を増すことになるのではないのでしょうか。また思いも寄らなかったような新しいサービスが提供できる技術が短期間で実用化されるこの時代、我々金融・保険に携わる者としては、顧客への新たなアプローチ、新たなサービスの可能性が広がるということであり、その機会を早く捉えていくことで、今後金融に関わるビジネスを成功に導くチャンスをつかむことができるのだと思います。またそれは、シンガポールという先進的な金融ハブでビジネスを行う日系企業として、日本とシンガポール双方の社会に貢献できる「チャンス」がこれまで以上に広がっている、と考える事ができるのではないかと思います。

英語のchanceとは、ラテン語で落下する、倒れるという意味のcadensが語源だそうで、偶然に落下することから転じて偶然を指す言葉として使われているのだそうです。その意味でも、不確実性を示す「リスク」と偶然を指す「チャンス」は表裏一体だとも言えるのではないのでしょうか。

昨年、金融・保険部会は、6月に観光・流通・サービス部会と共催で「SATS機内食工場 およびSASCO航空機整備工場視察会」、10月に運輸・通信部会、第1工業部会・貿易部会・観光流通サービス部会と共催で「PSAインターナショナル・港湾施設視察会」、同じく10月には「最新！経済・金利・為替動向セミナー」を開催しました。また2月と7月には部会メンバーの懇親を目的にゴルフコンペを開催しました。

本年も、さまざまな「リスク」に立ち向かい、新たな「チャンス」に取り組む日系企業の皆様に、シンガポール日本商工会議所、金融・保険部会として、少しでも役立てるような情報共有や交流のチャンスを提供することが出来るよう尽力したいと考えております。

末筆ではございますが、本年も会員の皆様にとってよい年となりますことを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

美しい世界

建設部会 副部長
OBAYASHI SINGAPORE PRIVATE LIMITED
Deputy Managing Director

奈良坂 純



「この世界は残酷だ。そしてとても美しい」

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、これは「進撃の巨人」という年齢や国籍を問わず有名な漫画に登場する台詞で、私も娘の影響で多少読んだことがあります。この作品では、圧倒的な力を持ち、奇妙な顔をした巨人が人間を捕食するのに対して、人間は自分たちを守るための引き換えに大きな壁を築き、移動の自由を放棄する様が描かれています。この漫画の世界のように、現実の世界でも、変え難い強者と弱者の構造が存在します。国家間や企業間ではゼロサムゲームが繰り返され、個人レベルでは生まれた境遇によって弱者として運命づけられてしまうことが多くあります。

さて、シンガポールの家庭でメイドを雇用することは一般的です。メイド代理店では、商品が陳列されるかのようにインドネシアやフィリピンからの出稼女性たちが雇用主を待っている光景を見ることができます。また、借家の内覧のためシンガポール人の家に入った際、バスルーム横のマットレスがメイドの寝床になっているのを見たこともあります。昔の奴隷制とは違い、メイドは強制的に連れて来られた訳ではなく、また最低賃金規定はないものの月額5万円程度の対価や必要な医療費等を楽しむことが約束されています。とは言え、メイドの斡旋過程や就業環境において個人の尊厳が正に扱われているかどうかは疑わしく、美しい現実とは思われません。

しかしながら、このようなメイドの扱いは、シンガポールの経済発展を支えた合理性の象徴として捉えれば理解できないことはありません。1965年に

マレーシアから追放される形で独立したシンガポールは、一党独裁の政府主導で、外資誘致やGLC（政府系企業）を牽引役とする産業振興を時代の流れに合わせながら行うことにより、一人当たりGDPが日本を追い越し、2016年には世界第10位となりました。この偉業は、経済発展を最優先として、資源の選択と集中を行わなければ達成できないことだったと思われま。例えば、人材育成において、プライマリースクール修了時の試験結果が将来の進路を決定すると言われるシステムは有名です。セカンダリースクールの成績が振るわずにITEと呼ばれる職業訓練校に入学した場合、その頭文字からIt's the endと言われるという冗談があると聞いたことがあります。これは、低学年から能力主義に基づく競争社会が徹底されており、将来の国益を支える優秀な人材を選別し、資源を集中して投下する仕組みの一環だと考えられます。合理的な思考はシンガポールの制度や政策に反映されており、シンガポール人にとって合理性の下で生み出された格差は当然のことなのかもしれません。一方、メイドとして働く女性のことを考えた場合、誰も家族や友人と離れて海外で働きたいとは思っていないでしょうし、出身国側で支払う斡旋費用も初期投資として大きな負担のほずです。海外で働かざるを得ない理由は、自国に就労機会がない、または賃金が安いからでしょう。インドネシアもフィリピンも大卒でさえ初任給が2～3万円程度、物価が日本の30～40%程度と聞いたことがあります。メイドとして働くのは、家族、子供または兄弟を養うために仕方ない選択肢であり、我々駐在員のように会社から海外手当や各

種補助を受け取り、守られた海外生活をしながら働くのとは全く異なります。

半年前にフィリピンの友人に会うためにフィリピンのミンダナオ島を訪れたことがあります。天国のように綺麗な海と砂浜では、地元の人が休日に家族連れでバーベキューをして楽しんでいました。家族から離れ、雇用主のために食事や身の回りの世話をするメイドの姿はそこにありません。一方、友人はダバオ周辺で仕事をしていますが、経済的には困難なようです。しかしながら、素晴らしい自然、愛する家族、信頼できる友人や同僚、毎日の食事に感謝していると言っていました。この時、美しいと思える世界を強く感じました。

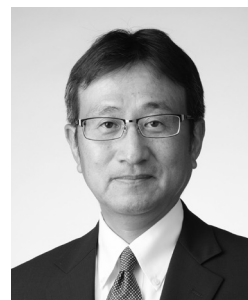
最後に、私が所属しております建設部会の昨年の部会活動をご紹介します。部会総会を含めて、部会活動としては合計6つのイベントを開催いたしました。5月に運輸通信部会が毎年開催している「PSA インターナショナル視察会」を共催させて頂き、8月には観光・流通・サービス部会と「シンガポール建築物・風水ツアー」、9月には第1工業部会と「地下鉄トムソンラインT207工区」の工事現場見学会と、見学会は合計3回行いました。12月には5部会共催の合同忘年会を行うなど、11月の若手勉強会並びに懇親会を除いた全てのイベントを他部会と共催で行いました。共催頂きました部会をはじめ、見学会・イベントを行う上でご協力を頂きました企業・担当者様に改めて御礼を申し上げます。本年も工事現場見学会の実施を予定しており、会員企業への新しい知識のご提供と企業同士の交流の場を提供できるように努める所存です。会員各社の積極的なご参加をお待ちしております。

末筆になりますが、2018年が会員の皆様ならびにご家族にとりまして、実り多きよい年でありますよう祈念いたします。

新年のご挨拶

運輸通信部会 部会長
MOL (ASIA OCEANIA) PTE. LTD.
Managing Director

赤坂 光次郎



JCCI会員の皆様、あけましておめでとうございます。本年も皆様にとりまして、良い一年となることを願っています。

皆さんも既にご存知のことですが、シンガポールは交通に関しては東南アジアの要所であります。特に海運ではシンガポール港（PSAターミナル）はコンテナの取扱い量が、上海港に次ぎ世界第2位で、2016年は20フィートコンテナ換算で3,060万個（=3,060万TEU）が船に積込まれ、又船から揚げられました。日本NO.1の東京港が約470万TEUで、日本5大港（東京、神戸、横浜、名古屋、大阪）の合計が1520万TEUですので、そのスケールの大きさがお分かりになると思います。シンガポール港は主にハブ機能を有し、この国を通して世界中に貨物が運ばれ、その意味において、シンガポールは世界貿易の重要な役割を担っています。

シンガポールの港湾開発計画は壮大なもので、現在のシティーターミナル（Tanjong Pagar = 既にコンテナ船のオペレーションを停止 / Keppel / Brani）の取扱い能力を、2027年迄に、徐々にパシルパンジャン（Pasir Panjang）エリアと、2021年に第1フェーズのオープンを目指すトゥアス（TUAS）エリアに移し、その能力を4,500万TEUまで拡大し、更には機能を増強しながら全てを2045年までにトゥアスに移すというものです。最終形の取扱い能力は6,500万TEUに達し、現在の2倍になります。コンテナの他には完成車の取扱いもしており、年間100万台の車が揚げ積みされています。将来的にはコンテナターミナルの跡地はマリンシティーに生まれ変わり、住宅、オフィスビル、ホ

テル、レジャー施設などを備え、ビジネスや観光において政府はシンガポールへの誘致を更に積極的に展開すると想定されます。地理的な優位性を活用している点では、チャンギ空港も同様の役割を担っています。空港の格付けランキングでは世界NO.1で利用旅客数は年間5,820万人、世界の空港の中で17位（国際旅客数ベースでは6位）、航空貨物取扱量は年間197万トンの14位で、東南アジアでは圧倒的な地位を堅持していると言えます。昨年、チャンギ空港では第4ターミナルもオープンし、大規模ショッピングセンター・娯楽施設も開業予定で、更に多くの旅客が空港を経由することになるでしょう。その様な状況から、交通は重要産業であり、シンガポール政府は今後も力を入れる事をコミットしています。2015年末に発効したAEC（アセアン経済共同体）の促進と共に、物や人の流れが益々活発となり、東南アジア経済が拡大するのは間違いありません。その中でシンガポールが交通、貿易、金融などの分野で如何に影響力を行使し、その発展に寄与出来るかが今後の課題となります。日本企業においてもシンガポールでビジネスを拡大できるチャンスでもあり、商工会議所の機能を利用しながら、良い知恵を出せればと考えます。

シンガポールはエネルギーの供給基地としても重要な役割を担っています。シンガポールを通過する貨物船（コンテナ船、タンカー、バルク船など）への補油（重油燃料）サービス、即ちバンカーリングではオランダのロッテルダム港と並び、その地位を確かなものとしています。一方で、世界では環境問題の対策から、船から排出されるSOX、NOX、

CO₂を軽減することが義務化される傾向にあり、船舶燃料を重油からLNG（液化天然ガス）に変更する動きも出てきています。その流れの中でシンガポールはLNG燃料でも重要な供給基地となるよう積極的に計画を推進しています。日本政府ともタイアップし両国がアジアにおいてその役割を果たせるように意見交換も行っているようです。

デジタル関連の開発スピードも目を見張るものがあります。AI（人工知能）、ICT、ビッグデータ、ブロックチェーン、IOT、など毎日のように新聞やテレビではその話題に事欠くことはありません。貿易分野で言えば、データ会社が主導し、ブロックチェーンやクラウドでシステムを開発し、関係者、例えば、荷主、輸送業者、銀行、保険会社、（仲介業者、税関：今後参加が期待される）などが共有データを自由に取り出すことを可能にし、ペーパーレスを促進するプロジェクトのスタディが開始されました。参加者が多ければ多いほど効果は高まるので、この様な新しい動きに関しては部会を通じて会員の皆様とシェア出来ればと考えます。

最後に、本年度の部会活動に関し説明致します。特に、PSAターミナルの見学会は人気が高く、先方に無理を聞いてもらい2回実施致しました。これは、たまたま私自身がPSAターミナルと長い付き合いがあり可能となりましたが、来年度以降も引き続き協力を要請し快諾して頂きました。来年度も2度開催出来るようにプランしていきます。昨年6月に開催致しました国会議事堂の見学も非常に興味深いものであり、再度開催出来るように事務局と調整します。セマカウ島の見学も環境問題を考える良い機会になりました。貿易部会との共催で2度のゴルフ大会も実施しましたが、会員メンバーの交流が広がる機会となり来年度も継続していきます。運輸通信部会の活動を更に活発化させ会員皆様のお役に立てるようになるには、忌憚ないご意見が重要ですので、遠慮なく事務局へ連絡して戴ければ幸甚です。何卒宜しくお願い申し上げます。

観光・流通・サービス部会の活動について

観光・流通・サービス部会 副部長
MITSUI FUDOSAN (ASIA) PTE. LTD.
Managing Director

松藤 哲哉



新年明けましておめでとうございます。

日頃より、シンガポール日本商工会議所ならびに観光・流通・サービス部会の活動に関して、皆様よりご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

昨年、東南アジア諸国連合（ASEAN）は、発足50周年を迎えましたが、ASEAN加盟10カ国は、総人口6億4000万人、GDP2兆5000億米ドルという巨大市場へと成長し、日本はASEANの域外輸入では第2位、域外輸出でも第4位と互いに重要なパートナーとなっています。今後、東南アジアにおいては、経済、社会、文化等の統合による深化、ならびに世界の経済成長の牽引役としてのさらなる発展が期待されており、そのハブ機能を担うシンガポールの役割も一層強化される必要があります。

そのような中、シンガポール経済の現状を見ますと、足元の実質GDP成長率は低い水準に留まっています。中長期の視点からは緩やかな改善が見込まれているものの、ここから再び飛躍を遂げるためには、更なるグローバル化を推進し、新たな成長戦略にもチャレンジしていく必要も出てきているのではないのでしょうか。

さて、当部会のテーマである観光、流通、サービスの分野に触れたいと思います。日本の観光分野はインバウンドの急拡大が続いており、2012年以来、5年連続で訪日外国人旅行者数が過去最多を更新し、その数は3000万人に迫る勢いとなっています。ビザ発給要件の緩和もさることながら、世界有数の大都市である東京の発信力に加え、四季折々の魅力に溢れる自然や日本食をはじめとする豊かな文化・

歴史など、日本が持つ数多くの魅力が世界に認知され始めた結果だと思いますが、日本の観光資源からすれば、まだまだ訪日外国人旅行者は増やせます。外国人対応力の向上および魅力の告知が重要だと考えています。

シンガポールからの旅行者数は年間約40万人と絶対数としてはそこまで大きくはありませんが、シンガポールの人口から考えれば、高い割合の人々が日本を訪れており、リピーターの数も多く、貴重なマーケットと言えます。また、日本から見ても、旅行先としてのシンガポールの人気は高く、今まさに日本で検討されているIR施設の事例などでも参考にすべき点が多いと感じています。

また、流通・サービスの分野では、「スマート化」がキーワードになると思います。

シンガポールは、2014年から「スマートネーション構想」を打ち出し、あらゆるインフラにセンサーを設置し、大量のデータをリアルタイムで収集・分析し、社会的なイノベーションを起こすことを目指していますが、同様に、日本においても「Society5.0」を標榜し、IoT、ビッグデータ、AI、ロボットといった先端技術をあらゆる産業や社会課題の解決に活用することを目指しています。例えば、無人自動走行や小型無人機（ドローン）等の実証実験が進められていますが、これらは物流の世界に革命をもたらすものになるでしょう。こうした流れは世界的に見られるものですが、ドイツや中国が製造業に焦点を当てているのに対し、日本、シンガポール両国は少子高齢化など社会課題全般をターゲットとして取り組んでいる点で共通する部分が多い印象を受けていま

す。医療分野におけるデータの利活用や予防・健康づくりの強化、介護ロボットの活用など、今後、両国が官民ともに連携・協力して発展していける分野は多いのではないのでしょうか。

昨年の当部の具体的な活動としては、当部会に関連する施設等の見学として、6月に金融・保険部会共催でのSATSの機内食工場およびSASCO航空機整備工場の日ツアー、8月にシャングリラホテルのPresidential Suitesの見学や風水にまつわる都市開発等を紹介いただいた建築物・風水視察会、10月にPSA インターナショナル・港湾施設視察会等を行ったことに加え、部会員の皆様からのアンケート結果に基づき、とくに関心が高かったトランプ政権を題材に、パネル討論会を開催しました。政権が発足して1年余りが経過した今も同様ですが、各省庁の幹部ポストの政治任用が進まず、選挙戦で掲げた各種施策の実現性も不透明な中、会員企業の皆様にとっても気になるテーマであったものと思います。今年もこうした会員の皆様の関心が高いタイムリーなトピックに焦点を当てながら、部会活動を進めていきたいと考えております。

また、12月には、昨年で第3回目となる企画組織強化委員会と共催の自社プレゼンテーション大会を実施しました。当部会は、JCCIの中でも登録企業数が最も多く、かつ中小企業会員、個人会員の割合が高いことが特徴ですが、そうした会員企業の皆様同士が、このイベントを通じて、ビジネスの面から連携を深めていけることを期待して開催しているものです。今後も自社の強みや魅力をアピールいただき、プレゼンター企業の皆様と聴講者の皆様とのニーズがマッチングし、新たなイノベーションが生まれる場となることを目指して取り組んでいきたいと考えています。

この他、会員同士の親睦を深めることを念頭に置きながら、5月にはスーパーラグビー、SUN WOLVES対SHARKS戦の観戦、7月にはタイガービール工場の視察も開催いたしました。

2020年東京オリンピック・パラリンピックもあと2年と近づき、日本の魅力を世界に向けて発信するまたとない好機を迎えています。当部会として、観光促進の観点からも両国の交流促進につながる活

動に取り組んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを心よりお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 理事、広報委員会 委員長
 JAPAN AIRLINES CO., LTD.
 Vice President & Regional Manager
 山下 康次郎



2018年初にあたり広報委員会メンバーを代表してご挨拶させていただきます。

新年明けましておめでとうございます。皆さまにとりまして、今年も最良の年となりますように心よりお祈り申し上げます。またいつもJCCI機関誌「月報」をご愛読いただき、誠に有難うございます。

JCCI機関誌「月報」は、1970年1月に創刊され今年で49年目となります。ほぼ半世紀の間、会員の中から選ばれた広報委員会編集員が毎月欠かさず編集会議を行い、題材や内容について議論を積み重ね、また、試行錯誤を繰り返しながら読者の皆様のご期待にお応えできるよう精一杯頑張っておりまして発行させていただきます。昨年もたくさんの皆様にご寄稿をしていただきこの場をお借りいたしまして改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。また、今年もよろしくお願いたします。

半世紀の歴史の中、毎号読者の皆様の関心がありそうな題材を選んでおりますのでJCCI機関誌「月報」は、自然とその時々シンガポール、また、日本の現状を映し出す鏡となっている気がします。シンガポールの在留邦人の最も多かった90年代の「生産拠点としてのシンガポール」から、現在の「アジア統括としてのシンガポール」、そしてマリーナベイサンズの竣工をきっかけにまた盛り上がった「観光地としてのシンガポール」、先進国の仲間入りを果たした「消費地としてのシンガポール」といったいろいろな切り口での記事が紙面を飾り、まさにJCCIがシンガポール誕生から今までシンガポールと一緒に歴史を作ってきた証と言えます。その時々シンガポールで頑張ってきたたくさんの先輩方の努力に改めて敬意を表したいと思います。

最近の記事の特徴は大きく二つです。一つは訪日需要の増加の話題、そして二つ目は先端技術の進歩についてです。訪日需要については、2020年の東京オリンピックまでは間違いなく増加しますし、日本への関心の増加に伴い日本料理や食材、また、ゲームやアニメといったソフトも含めシンガポールに進出して

らっしゃる会社にとっては大きなビジネスチャンスになっていくことは間違いありません。

一方、先端技術はこれから日本企業が大きい競争に打ち勝てるかが勝負です。IoT、FINTECH、AI、自動運転など先端技術が複合的に新たな世界を作り出していく前兆があります。特にこれまで日本が世界をリードしてきた自動車産業などすそ野の広い分野での負けられない勝負は熾烈を極めていきます。シンガポールや深センはアジアのシリコンバレーとして先端技術開発をリードしていると言われていますが、大きなインフラ投資が必要でない技術開発はそれ以外の東南アジアの国々も決して油断のできない状況です。

トランプ大統領の誕生やイギリスのEU脱退にみられる欧米でのナショナリズムの台頭にばかり目を奪われているとアジアで始まっている中国の「一帯一路」構想やTPP11、AECといった巨大経済圏の中で日本企業の優位性を失ってしまいます。さらにバングラディッシュやインド、スリランカから始まったインド洋経済圏は、安い人件費を梃にモリシャスや東アフリカも巻き込んでこの先10年の世界経済地図に思わぬ変化をもたらすこともあり得ます。

日本にいると実感として感じなかったこともシンガポールにしていると“ひりひり”するように刺激を受けます。火を近づけたら本当に燃えてしまうんじゃないかと思うような情熱、エネルギーにあふれた他国のビジネスマンにも接することができます。在星3年になりすがまだまだやりたいことが多くて元気があふれる毎日です。

今後も広報委員会編集員が、シンガポールや日本を中心とした経済、産業等の最新情報を骨太でありながらもわかり易い紙面でお伝えすべく努力をして参ります。シンガポールと日本の懸け橋になれば幸せなことです。今後とも皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご多幸とご発展を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



〈広報編集委員の皆様〉

広報編集委員 一覧

(敬称略、会社名アルファベット順)

		NAME	COMPANY
1	委員長	山下 康次郎	JAPAN AIRLINES CO., LTD
2	幹事長	中島 茂	NTA TRAVEL (SINGAPORE) PTE LTD
3	委員	安田 雅子	DELOITTE & TOUCHE FINANCIAL ADVISORY SERVICES PTE LTD
4	委員	森山 正明	EISHINKAN SINGAPORE PTE LTD.
5	委員	西野 雄介	EN WORLD SINGAPORE PTE LTD
6	委員	高橋 佳樹	ERNST & YOUNG LLP
7	委員	長久 秀三	FUJI OIL ASIA PTE. LTD.
8	委員	末広 英之	HAKUHODO CONSULTING ASIA PACIFIC PTE LTD
9	委員	紺野 篤志	HITACHI ASIA LTD
10	委員	篠永 裕太	ITOCHU SINGAPORE PTE LTD
11	委員	三宅 正寿	JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION SINGAPORE OFFICE
12	委員	早瀬 恭	JAC RECRUITMENT PTE LTD
13	委員	本田 智津絵	JETRO SINGAPORE
14	委員	小寺 修二	KAJIMA OVERSEAS ASIA PTE LTD
15	委員	松井 達也	KDDI SINGAPORE PTE LTD
16	委員	萬 卓也	mitsubishi chemical asia pacific pte ltd
17	委員	富田 明	MITSUBISHI LOGISTICS SINGAPORE PTE LTD
18	委員	林 勇樹	MITSUI FUDOSAN (ASIA) PTE LTD
19	委員	高德 祐一	PANASONIC ASIA PACIFIC PTE LTD
20	委員	堀 和寛	THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, LTD
21	委員	野田 真理子	TOKIO MARINE INSURANCE SINGAPORE LTD
22	委員	田川 毅	TORAY INTERNATIONAL SINGAPORE PTE LTD
23	顧問	門伝 好司	SBG HOLDINGS PTE LTD



シンガポール



2017年主要ニュース一覧

月報編集を担当している広報委員20名が、その年の主要ニュースをPick upし、それぞれのカテゴリー【①外交、②政治経済、③教育、④雇用、⑤スポーツ、⑥文化、⑦ビジネス、⑧観光・交通、⑨社会情勢、⑩金融】に分け、記載をいたしました。2017年を振り返りながら、ご覧下さい。

【 外交 】

北朝鮮との商業貿易の全面停止
アメリカのTPP 離脱表明
TPP11が大筋で合意
アメリカ海軍のイージス艦がシンガポール沖で衝突事故



【 政治経済 】

ハリマ・ヤコブ前国会議長、女性初の大統領に就任
2017年経済成長率、3%超へ
リーシェンロン首相に対し、弟妹が公然批判



【 教育 】

タイムズ大学ランキング、National University of Singaporeが3年連続でアジア首位に
世界大学ランキングでNanyang Technological Universityがシンガポール国立大学より上位に

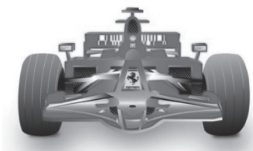
【 雇用 】

外国人労働者規制強化



【 スポーツ 】

Formula 1 シンガポールグランプリの来年度から4年間の継続決定



【 文化 】

草間彌生の展覧会、国立美術館の最多入場者数を更新

【 ビジネス 】

シンガポール、ビジネスのしやすさランキングで2位を維持、世銀調査
東南アジア初のアップル直営店、オーチャードにオープン
米アマゾン、シンガポールで営業開始
コワーキングオフィスが増加、オフィス需要を牽引
駐在員の人気赴任先、シンガポールが再び1位に
無印良品の旗艦店、LUMINE、ドンキホーテと相次ぐ日系小売り大型店舗開店



【 観光・交通 】

MRTダウンタウンライン第3期区間が開業
 チャンギ空港第4ターミナル開業
 シンガポールー日本の地方空港間の新規直行便就航が相次ぐ（新千歳、関西、広島、那覇）
 訪日シンガポール人客数が過去最高ペース（2017年1～10月で前年比10.1%増の26万7,200人）
 ラッフルズホテル改装、休業に 2018年6月以降再オープン予定
 MRTの運行停止事故相次ぐ
 トゥアス港整備計画は順調、入港など自動化へ
 自転車シェアリングシステムが急拡大
 シンガポールで3～6カ月の民泊が解禁
 Comfort DelGroがフラット料金導入
 マンダイ地区のホテル開発、バンヤンツリーが受託



【 社会情勢 】

シンガポール、人口は微増の561万人、非居住者が14年ぶりに減少
 水道料金17年ぶり値上げ
 シンガポール、喫煙法定年齢を19歳に引き上げ、いずれ21歳に
 テロ計画者が逮捕（6月内務省がテロの脅威に関する初の報告書を公表）
 ICT調達24億シンガポールドル、スマート国家の取組み進む



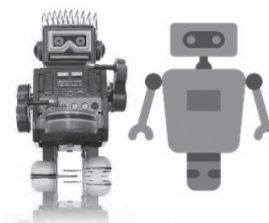
【 金融 】

第2回フィンテック・フェスティバル開催、約3万人が参加し、世界最大級イベントに



【 2018年 気になるイベント・行事一覧 】

マレーシア・シンガポール高速鉄道関連の動向・ニュース
 人工知能（AI）に関する世界最大級の拠点「AIハブ」を来年、中央商業地区（CBD）に開設
 2018年2月以降自動車台数の増加率を0%に設定
 Singapore Air Show



ASEAN6・インド経済の2017年の回顧と2018年の展望

MIZUHO BANK LTD.
Economist

松浦 大将

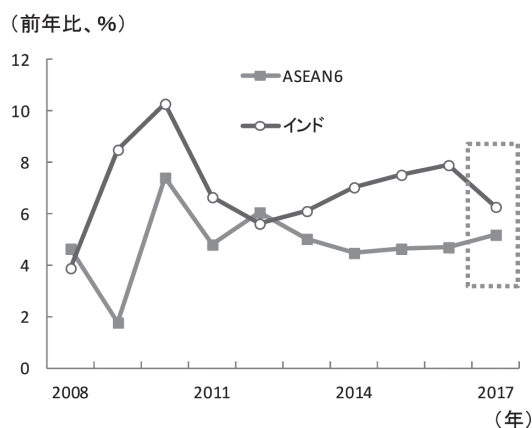
2017年の景気は、ASEAN6が好調となった一方、国内要因によりインドは減速

2018年のASEAN6（インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナム、シンガポール）とインドの経済を展望する前に、まず2017年の景気を振り返ると、ASEAN6は力強い景気回復をみせた一方で、国内要因によりインドは冴えない結果となった。以下では、ASEAN6とインドのそれぞれについて、2017年の景気を回顧したい。

① ASEAN6

原稿執筆時点（2017年12月8日時点）でみずほ総合研究所では、2017年のASEAN6の実質GDP成長率は+5.2%と、2016年の+4.7%から大きく加速すると見込んでいる（図表1）。この伸びは、過去を振り返っても、2012年以来5年ぶりとなる高い成長率となる。

図表1 成長率の動向

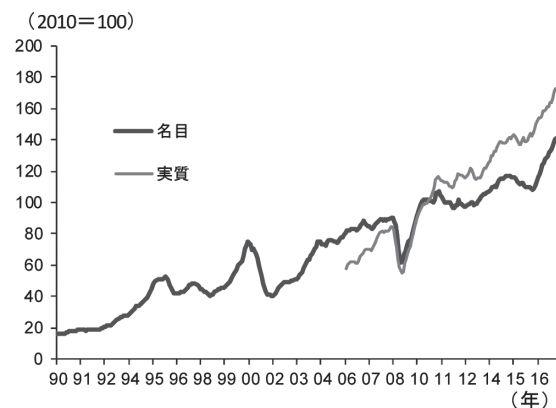


(注) 2017年の値は、2017年12月時点におけるみずほ総合研究所の予測値。

(資料) IMF、各国・地域統計より、みずほ総合研究所作成

ASEAN6の多くの国で、輸出の回復がみられた。その背景の一つに、世界的にIT関連貿易が好調となっていることがある。世界の半導体の売上高をみると（図表2）、このところ急激に増加していることが分かるだろう。2017年にはiPhoneなどの世界的に人気が高いスマートフォンの新モデルが発売されたほか、最近ではインターネットと家電等のモノを繋ぐIoT（Internet of Things）や自動車の自動運転技術の開発など、新たな用途で半導体・電子部品等の需要が高まっているようだ。

図表2 世界の半導体売上高



(注) みずほ総合研究所による実質化、および季節調整値。

(資料) Datastreamより、みずほ総合研究所作成

また、中国経済が緩やかな回復局面にあることもASEAN諸国の輸出を押し上げる要因となっている。鉄鋼などの素材部門を中心に生産抑制が進められたことで、在庫の過剰感が解消され、在庫を積み上げる動きがみられた。また、世界的なIT関連需要の好調が中国にも追い風となり、輸出が持ち直したことも成長率の押し上げに寄与した。

これらの要因が相まって、世界貿易が活発化し、その中で、ASEAN諸国にも恩恵がもたらされることとなったといえよう。

また、ASEAN6の大半の国では、内需にも活力がみられた。インドネシアでは、資源価格が持ち直していることから、企業の設備投資意欲が改善したほか、政府が推し進めるインフラ事業の進捗がみられたことも好材料となった。ジョコ政権では、国家戦略として優先的に取り組む255のインフラ事業を明確化し、それに対する予算を相応に割り振った。また、これまでインフラ整備の足かせとなっていた外資参入規制の緩和や資金調達のスキーム作りなど、制度や組織の整備を進めている効果が徐々に顕在化しているようだ。

タイでは過去に行った過度な消費刺激策の弊害が緩和していることが内需の回復に繋がった。2011～2012年にインラック前首相の下で実施された自動車購入奨励策によって、政策実施時期こそ自動車販売が増加したが、大きな先食い需要が生じたことで、その後の自動車購入意欲を大きく削ぐこととなった。これにより近年の個人消費は低迷してきたが、足元ではその影響が徐々に緩和してきており、自動車を中心に個人消費は回復傾向が続いている。

マレーシアでは、先に述べた輸出の回復などを受けて、雇用・所得が改善されたことから、個人消費は堅調に推移した。

ベトナムでも同様に輸出増が個人消費に波及する動きがみられるなか、政府が成長率目標を達成するために財政支出を強化したことも景気の追い風となった模様だ。

②インド

一方、2017年のインドの成長率は+6.3%と前年の同+7.9%から大きく減速した見込みだ。政府が実施した政策の副作用が内需の停滞を招くこととなった。具体的には、2016年末には不正資金を炙り出すことを目的に急遽高額紙幣が廃止されることが発表された。これにより各所で混乱が生じたことに加え、旧紙幣から新紙幣に交換するまでに一定の時間を要したことから、一時的ではあるものの、現金不足の状態に陥ったことが個人消費を抑制したと

みられる。また、2017年7月の財サービス税（GST）の導入で、金の税率が高くなるとの観測から、金の駆け込み輸入が起きたことで、純輸出が大きく悪化し、成長率を押し下げることとなった。しかしながら、高額紙幣廃止は、結果的に多くの有権者から支持され、モディ政権の支持率が上昇した。また、GSTの導入については、これまで州によっていくつもの税率が乱立していた状態が改善されたことは、長い目で見れば経済成長を促進する要因となろう。

足元では民間設備投資の弱含みが顕著となっている。インドでは、鉄鋼やアルミニウムといった素材産業を中心に過剰設備があることが設備投資の妨げになっているといわれている。このような設備過剰の背景には、将来的なインフラ需要の拡大を見越して、前政権が鉄鋼などの素材産業の能力増強を目指したことがある。また、不良債権比率が高く銀行の貸し出し姿勢も慎重であることも、趨勢的な投資の低迷につながっているようだ。

域内関税の撤廃によりベトナムの貿易赤字は拡大する可能性

以下では2018年におけるASEAN域内での注目点を総括した上で、景気の見通しを展望したい。まず、2018年のASEANにおけるひとつの注目点として、ASEANの物品貿易に関する協定（ATIGA）に従い、ASEAN諸国に対する関税を2018年初からほぼ全て撤廃することが挙げられる。ASEANの発足当初に加盟したブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイについては、2015年時点で概ね全ての域内関税の撤廃が完了していたが、後発加盟国のCLMV（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）については、2018年初まで猶予が設けられていた。

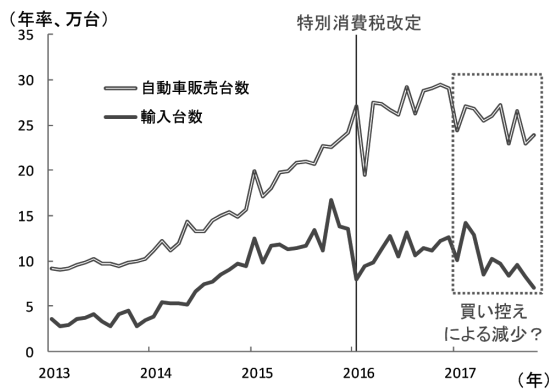
今回の関税撤廃により、近年成長が著しいCLMVとインドネシアやタイなどASEANの大国を擁する先発加盟国との連携性が高まり、ASEAN諸国全体の貿易が促進されるとみられる。

もっとも、短期的に打撃を受けるといわれているのが、今まで高関税率で守られてきたベトナムの自動車産業だ。関税撤廃に備え、ベトナム政府は、輸入車の販売価格を高くするような特別消費税を設け

ることなどで、自動車輸入の抑制を図ってきた（図表3）。しかしながら、直近では関税撤廃を目前に買い控えとみられる動きが生じており、2018年に入ってから自動車輸入が急増する可能性は十分にある。

ベトナムは、外資企業の輸出拠点として成長する反面、裾野産業が未熟なため輸出品製造に必要な部品の輸入がかさみ、依然として貿易赤字を抱えやすい構造にある。そのうえ、今後は完成車輸入が増加して貿易収支が急激に悪化するような事態となれば、ベトナム政府はより厳格な保護主義的税制や非関税障壁を導入する可能性があるだろう。2018年は、このような自動車輸入の動向や、それに伴う政府の対策に注視する必要があるだろう。

図表3 ベトナムの自動車販売・輸入台数



（資料）ベトナム統計総局、ベトナム自動車工業会より、みずほ総合研究所作成

マレーシアとタイの総選挙にも注目

2018年には、マレーシアとタイで総選挙が実施される見込みであり、その結果にも注目だ。

まず、マレーシアについては、現与党の国民戦線がどの程度の議席を獲得できるかに注目だ。国営投資会社1MDBからナジブ首相に巨額の資金が流れたとの疑惑から、一時は国民の間で反与党機運がかなり高まっていた。しかしながら、最終的にはこの汚職疑惑における決定的な証拠が出てこなかったため、足元では反政府の機運は落ち着いている。また、前回の総選挙では、主要野党が共闘し、与党を追い込んだが、現在はイスラム厳罰法をめぐる各党の意見が対立していることなどから、野党は分裂状

態にある。このため野党は、小選挙区制下で不利な戦いを強いられることとなろう。以上の状況を踏まえれば、今回の総選挙でも、現与党が勝利する可能性が濃厚だと考えられる。そのため、経済政策については、現政権が打ち出している中長期的な政策に則って、新産業の発展を目指すものとなるだろう（図表4）。

図表4 新産業発展促進政策

マレーシア航空宇宙産業ブループリント2030 (2015年3月)
ある程度発展している①整備・修理・オーバーホールと、②航空機製造に加え、③システム・インテグレーション、④エンジニアリング・設計サービス、⑤教育・訓練も加え、全体のさらなる発展を促進
マレーシア鉄道周辺産業ロードマップ2030 (2014年6月)
①高エネルギー効率・低環境負荷、②相互運用性、③高速・快適を旨とし、鉄道部品産業等の発展を促進
国家グラフェン行動計画2020 (2014年7月)
ゴム添加剤やリチウムイオンバッテリー陽極素材/ウルトラ・キャパシタ、導電性インク、ナノ流体、プラスチック添加剤の5分野でグラフェンの活用を促進
国家科学・技術・イノベーション政策 2013-2020 (2013年6月)
生物多様性、サイバー・セキュリティ、エネルギー安全保障、環境と気候変動、食料安全保障、医療と保健、プランテーション作物とコモディティ、輸送と都市化、水安全保障の9分野で研究開発を促進

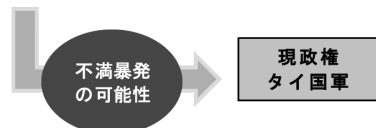
（資料）政府資料、各種報道より、みずほ総合研究所作成

タイでは、2014年の軍事クーデターから軍事政権が続いてきたが、今回の総選挙をもって民政へ移管されることとなる。もっとも、現在は政治活動が禁止されていることから、各政党の勢力は見えにくい状況にある。長らくタイでは、農村部・貧困層が支持する元タクシン首相派と、都市部・富裕層が支持する反タクシン派の対立が続いてきた（図表5）。今年の5月にバンコク大学が行った世論調査をみると、タクシン派のタイ貢献党と反タクシン派の民主党の支持率がそれぞれ17.8%、15.6%と拮抗しており、今回の総選挙においても両党を軸に選挙戦は展開するとみられていた。しかし、10月に軍事政権が世論調査を行い、「軍事政権に政党を支持する権利はあるか」と問うたところ、「支持する権利がある」との回答が31.9%に上ったことを受けて、軍部が新政党を設立するのではないかとの見方が浮上している。軍部が新政党を設立すれば、下院選挙は比例代表制で行われるため、軍部の新政党は一定の議席を確保するとみられる。また、上院は軍部による任命制となっているため、民政移管後も上下両院に軍部の影響力が及ぶことになろう。

現軍事政権は、外資誘致によって高度産業の育成を目指す「タイランド4.0」の実現や、インフラ整備による周辺国のコネクティビティーの強化などを通して、更なる経済発展を目指している。民政移管後も軍部の影響が色濃く残ることを踏まえれば、このような経済政策の方針は次期政権にも受け継がれることとなるだろう。

図表5 タイの政治対立の構造

	タクシン派	対立	反タクシン派
支持層	農村部 低所得層		都市部 高所得層
政党 (支持率※)	プアタイ党 (17.8%)		民主党 (15.6%)



(注) 支持率は私立バンコク大学による調査(2017年5月24、25日に実施)。

(資料) 各種報道より、みずほ総合研究所作成

エレクトロニクスを中心とした世界貿易の回復がアジア経済を底上げ

以上のような注目点にも目を向けつつ、2018年の経済を展望すると、ASEAN6は引き続き良好な輸出環境に支えられ、高い伸びを継続するほか、インドについても、2017年の足かせとなった高額紙幣廃止やGST導入などの政策要因の影響が一巡し、再び高い伸びに回帰するとみている。以下では、ASEAN6とインドについて、2018年の景気を展望したい。

① ASEAN6

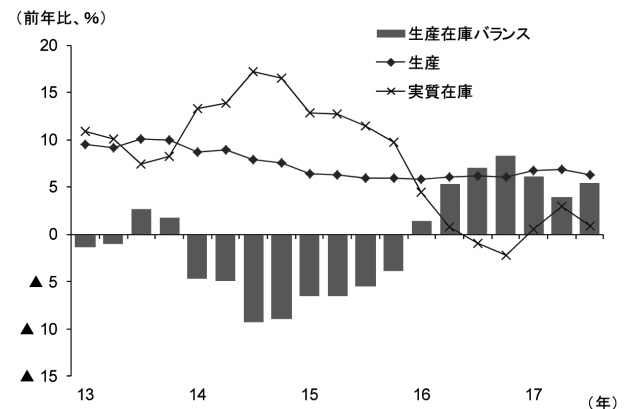
ASEAN6の経済をけん引していた輸出は、2018年に小幅に減速するが、底堅い推移を続けると予想される。

まず、中国経済については、景気の下押し要因へと徐々に転換すると見られる。このところの中国経済を支えてきた在庫復元の動きが2018年ごろには一服するとみられ、生産は再び抑制局面に突入するとみている(図表6)。また、不動産バブルや過剰債務による金融リスクを防止するため、金融規制が

断続的に強化されて企業の資金調達環境がタイト化していることを受けて、投資を中心に成長率は緩やかに低下すると予想される。

一方、2017年の経済を牽引したIT輸出については、IT需要のサイクル的な改善がピークアウトすることを踏まえれば目下のような増勢は幾分和らぐとみられるが、スマートフォンの高機能化やサーバー向けの需要拡大を背景に、緩やかながらも世界貿易の下支え要因として貢献するだろう。そのため、総じて見れば、2018年にかけてASEANにおける輸出環境の陰りは限定的にとどまるとみている。輸出環境が良好さを保つ中、内需も多くの国で概ね順調に回復しよう。

図表6 中国の生産・在庫バランス



(注) 生産在庫バランス = 生産前年比 - 在庫前年比。在庫はPPIで実質化。

(資料) 中国国家统计局より、みずほ総合研究所作成

2018年のASEAN6の経済を国別に展望すると、まず、インドネシアについては、ジョコ政権のインフラ投資計画のさらなる進展や、ビジネス環境の改善を背景に民間投資の緩やかな拡大が見込まれるなかで、総固定資本形成の加速が予想される。輸出や投資の拡大により雇用所得環境の改善が続き、個人消費は引き続き堅調に推移しよう。2019年4月に予定される総選挙に向けた政党支出等の拡大も景気を押し上げよう。

タイでは、2017年の景気押し上げ要因となった個人消費がやや減速するとみている。その背景には、家計で債務が大きく積み上がっていることから、今後は更なる借り入れによる個人消費の押し上げを期待しづらい状況であるためだ。また、設備稼

働率の低さを踏まえると、民間投資も冴えない動きが継続するとみている。しかしながら、輸出の回復が続くことに加えて、2018年度（2017年10月～2018年9月）の国家予算が前年の当初予算対比で増額されていることから、インフラ整備を中心に政府支出も景気の下支えになるだろう。その結果、成長率は底堅く推移する見込みだ。

マレーシアは、2018年度予算案によれば、歳出の伸びが鈍化する見通しであり、GDPに対する公的需要の寄与度は低下するであろう。一方、雇用・所得環境の改善が続いていることから、個人消費は高い伸びとなるだろう。輸出の増加基調を受けて、輸出企業を中心に設備投資の増加も続くとみている。

フィリピンでは、ドゥテルテ大統領が掲げるインフラ整備計画は、2018年には本格的な実行段階に入ると考えられ、これが呼び水となって民間投資の伸びも徐々に高まるとみられるからだ。また、世界的な景気回復基調を背景に海外フィリピン人労働者（OFW）送金の安定的な流入が続いて消費は下支えされるとみられる。

ベトナムでは、ASEAN経済統合の一環として、2018年よりベトナムの関税が撤廃されることから、輸入額が増加することは景気の下押し要因となる。しかしながら、海外からの直接投資による生産設備の強化により、輸出の回復は継続するとみられる。また、このような良好な輸出環境に支えられ、製造業を中心に雇用・所得が引き続き回復し、個人消費も堅調に推移する見込みだ。

シンガポールは、世界的なITサイクルのピークアウトと中国経済の減速で、輸出は増加基調を維持しつつも伸びは鈍化しよう。また、2017年度中（2017年4月～2018年3月）は公共投資が堅調に推移する見通しだが、2018年度予算では伸びが抑えられる可能性が高い。その一方で、設備稼働率は上昇しており、運行指標の雇用・所得も改善が見込まれることから、民需が景気を下支えするとみている。

以上を総括すると、ASEAN6では、外需が足元の勢いこそ和らぐものの、堅調な推移が続く中で、内需も持ち直し、成長率は引き続き高い伸びを維持するものと見ている。その結果、2018年のASEAN6の成長率は+5.1%と2017年見込みの+

5.2%と同等の景気回復となると予想する（図表7）。

②インド

2017年の景気停滞の原因となった高額紙幣廃止やGSTの導入による影響が一巡し、2018年は景気が持ち直す可能性が高い。それにより、インドの2018年の成長率は+7.3%と2017年見込みの+6.3%から拡大すると予想される。

もっとも、足元でも引き続き設備過剰感が強いことから、企業の投資意欲は弱く、設備投資は力強さに欠けるだろう。また、政府支出も中期的な財政再建方針の下で抑制が見込まれる。

図表7 年次実質GDP成長率と経済見通し

	(単位: %)				
	2014年 (実績)	2015年 (実績)	2016年 (実績)	2017年 (予測)	2018年 (予測)
ASEAN6	4.5	4.6	4.7	5.2	5.1
インドネシア	5.0	4.9	5.0	5.1	5.2
タイ	0.9	2.9	3.2	3.9	3.5
マレーシア	6.0	5.0	4.2	5.9	5.4
フィリピン	6.1	6.1	6.9	6.5	6.7
ベトナム	6.0	6.7	6.2	6.7	6.6
シンガポール	3.6	1.9	2.0	3.3	2.6
インド	7.0	7.5	7.9	6.3	7.3

(注) 1. 実質GDP成長率（前年比）。

2. 平均値はIMFによる2015年GDPシェア（購買力平価ベース）により計算。

(資料) 各国統計、みずほ総合研究所

松浦 大将 (まつうら ひろまさ)

1990年 兵庫県生まれ

2014年 大阪大学大学院経済学研究科修了。みずほ総合研究所入社。

2016年まで日本経済を担当、以後アジア調査部でタイ、ベトナム、オーストラリア経済を担当。

JCCI SINGAPORE FOUNDATION LIMITED

10 Shenton Way, #12-04/05 MAS Building, Singapore 079117

(Co. Reg. No.: 199002444H)

各位

シンガポール日本商工会議所

副会頭・基金募金委員長

鈴木 孝林

シンガポール日本商工会議所基金「2017年度募金」へのご協力御礼

拝啓 2018年、新しい年を迎え、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当会議所の事業活動に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年8月から11月にかけて実施致しました標記基金への募金活動におきまして、格別のご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

会員企業各位によるご支援により、計238会員から28万8,488 S \$の貴重な浄財を頂戴致しました。

寄付先選定に関しまして、基金諮問委員会、基金留学生制度委員会において慎重に検討のうえ、相応しいと判断した16の団体と2人の留学生を決定し、贈呈することとなりました。

末筆ながら、皆様の温かいご協力に対し改めて心よりお礼申し上げますとともに、引き続き本基金活動への変わらぬご理解、ご支持を賜りますよう併せてお願い申し上げます。

敬具

基金贈呈式（2017年12月8日）

会場：シャングリラ・シンガポール



析析会頭から16の寄付先団体・2名の新留学生に寄付・奨学金が授与された。



※受賞者について、次のページから順番に詳しくご紹介します。

16の寄付先団体の活動紹介

1. T.H.E Dance Company Ltd.

シンガポールでコンテンポラリー・ダンスを普及させ、理解を深めてもらうことを目標としている団体。

寄付金額：S \$10,000

寄付活動：「M1CONTACT Contemporary Dance Festival 2018」本イベントでは日本からのダンス団体と共演する。

毎年開催、今回は9回目で、6月15日～8月4日に開催予定。



2. NUS Centre For The Arts

芸術や多様な文化理解を通じた総合教育を目的に、シンガポール国立大学内で活動。シンガポールや海外の芸術者・団体と協力して様々なプログラムに取り組む。

寄付金額：S \$20,000

寄付活動：「NUS Arts Festival 2018」及び「Koto Transformation」1996年より毎年開催。学生が有名芸術家と組み、音楽・ダンス等を通じて社会問題を喚起することを目的としたアートフェスティバル。2018年度は9月3日～22日に開催予定。



3. The Philharmonic Winds

2000年に創立された、ノンプロによる吹奏楽の活動をシンガポールへ広めるための団体。日本の音楽家とのコラボレーションも多数。

寄付金額：S \$20,000

寄付活動：「Japanese Wind Music (Kako to Genzai)」日本の著名な作曲家・野田 燦氏、西村 朗氏、三木 稔氏の人気曲などを演奏し、シンガポール人に紹介。2018年10月に開催予定。



4. We Love JAZZ (Singapore) Limited

シンガポールの若者にジャズへの理解を深めてもらうことを目指している団体。

寄付金額：S \$10,000

寄付活動：「We Love Jazz Battle 2018」2017年より、ジャズ大会を開催。今回は2回目。2018年度は7月に開催予定。



5. The Young Musicians' Foundation Orchestra

2014年に設立さ、ローカル若者の音楽家の育成することを目指している団体。

寄付金額：S \$10,000

寄付活動：「Strauss and Takemitsu ¥ German Meets Japan ¥」日本の著名な作曲家・武満徹氏の人気曲などを演奏し、シンガポール人に紹介。2018年6月に開催予定。



6. National Gallery Singapore

2015年11月24日にオープンし、世界最大のシンガポールと東南アジアのアートコレクションを管理しているアートギャラリー。

寄付金額：S \$10,000

寄付活動：「Curatorial Research Residency 2018」芸術交流のため、シンガポールのキュレーターを福岡アジア美術館へ短期派遣する。得た知識をシンガポール現地芸術界に還元する。



7. The Japanese Cultural Society, Singapore (JCS)

1963年設立。日本とシンガポールの文化交流を通じた相互理解の促進を目的とした団体。

寄付金額：S \$35,000

寄付活動：「48th Japanese Cultural Festival」日本文化をシンガポール人に紹介するため、講演会、コンサートなどを2018年5月～10月に開催予定。



8. National University of Singapore, Department of Japanese Studies

シンガポール国立大学の人文社会学部に属する日本研究学科は1981年創立。多くの学生が日本に関連する様々な分野について学んでいる。

寄付金額：S \$23,000

寄付活動：「Culture Room ～ Promoting Japanese Culture in NUS」新たに設立した「文化室」を利用し、様々な日本文化（茶道・舞踊など）を学生たちに紹介している。



9. Japanese University Graduates Association of Singapore (JUGAS)

1970年に設立。日本で高等教育を受けたことがあるシンガポール人のための同窓会組織である。

寄付金額：S \$40,000

寄付活動：「JUGAS Education Fund」名古屋大学と東京大学へ留学生を派遣。また、日本とシンガポールの文化交流を深めることを目的とした様々なプログラムも定期的を実施。

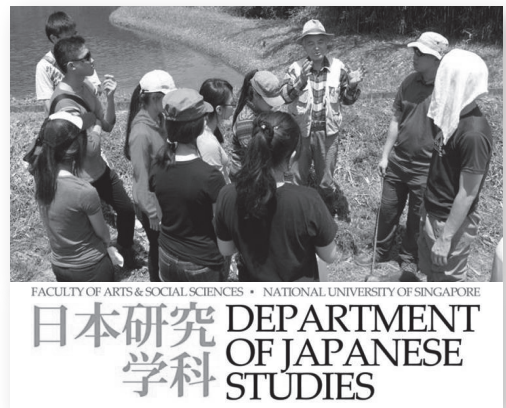


10. National University of Singapore, Department of Japanese Studies

シンガポール国立大学の人文社会学部に属する日本研究学科は1981年創立。多くの学生が日本に関連する様々な分野について学んでいる。

寄付金額：S \$20,000

寄付活動：「Field Studies in Japan 2018」NUS日本研究学科の学生にエコツーリズムを通じ、環境問題について考えてもらうことを目的としたフィールドスタディ。主な見学地：九州の小国町、南小国町、水俣市等。内容は農業体験や行政、学生たちとのディスカッションなど多岐にわたる。



11. Singapore University of Technology and Design

シンガポール工科大学（SUTD）は現地の第4校目の国立大学として2009年に設立。

寄付金額：S \$20,000

寄付活動：「SUTD - KIT - Architectural Study and Exchange 2018」京都工芸繊維大学とSANAA Architects Tokyo（建築事務所）へSUTD学生たちを派遣。日本の建築学について深く理解してもらい、ディスカッションなどを行う。



12. National University of Singapore, Lee Kuan Yew School of Public Policy

リー・クワン・ユー公共政策大学院は2004年創立。東南アジア、中国、インドを中心に約400名学生が経済政策、国際関係などについて学んでいる。

寄付金額：S \$20,000

寄付活動：「Japan Study Trip 2018」シンガポール国立大学リークワンユー公共政策大学院生の企画。世界から注目される日本の政策考察を行う予定。



13. Singapore Gymnastics

2003年創立、シンガポールの体操選手を育成することを目指している団体。

寄付金額：S \$15,000

寄付活動：「Engaging of Japanese Technical Expert 2018」

2018年度の国際大会に向け、日本体操協会のRika Yamamoto先生を招聘し、指導を仰ぐ予定。



14. Singapore Kendo Club

1972年創設、シンガポール・スポーツ・カウンシル傘下の剣道団体。

寄付金額：S \$17,000

寄付活動：「17th World Kendo Championship - Preparation and Participation」2018年に韓国で開催される「第17回世界剣道選手権大会」に向けて技を磨く。



15. Singapore Disability Sports Council

1973年創立。障害者へのスポーツプログラムを通じたりハビリの促進、また、社会とのつながりを持たせることを目的とした団体。

寄付金額：S \$50,000

寄付活動：「Project Abilities - Majulah, Tokyo 2020」 Project Abilitiesは2007年開始。16歳～40歳の障害者へのスポーツを通じた教育プログラム。2020年に日本東京で行う障害者スポーツ大会「Paralympic Games」への代表選手の育成を行う。



16. Runninghour Co-operative Limited

2009年設立。視覚障害者、身体障害者、知的障害者とその伴走者で構成されている。ランニングを通じ、障害者に健康と多くの人・社会と交流する機会を与えている団体。

寄付金額：S \$20,000

寄付活動：「Runninghour 2018 - Integration Through Sports」視力障害者と一緒にランニングを楽しむレースを開催する予定。現地コミュニティでワークショップを開催し、活動意義などを幅広く啓蒙する。



2018年派遣留学生について



留学生名： Ms Samantha LEONG Hwai Yan （サマンサ）

大学： National University of Singapore (NUS) (3年生)

専攻： English Language (Linguistics) (Major)

Japanese Studies (Minor)

早稲田大学国際教養学部（日本概論コース）への派遣時期：

2018年9月～2019年7月



留学生名： Ms Grace KHOO Jiamin （グレース）

大学： National University of Singapore (NUS) (2年生)

専攻： Japanese Studies (Major)

Economics (Minor)

ICU 国際基督教大学（教養学部）への派遣時期：

2018年9月～2019年7月

JCCI SINGAPORE FOUNDATION

2017年度募金状況

(12月6日現在)

※下記のリストは「法人寄付」及び「個人寄付」に分けています。「法人寄付」には、企業グループとして募金を頂いた場合、複数の部会にまたがるケースがあるため、部会別の後にアルファベット順で掲載しています。

【法人寄付】

ALPHABETICAL ORDER (\$ \$)

第1工業部会

AISIN ASIA PTE LTD	1000
CHIYODA SINGAPORE (PTE) LTD	500
DAIFUKU MECHATRONICS (S) PTE LTD	1000
DAIHATSU DIESEL (ASIA PACIFIC) PTE LTD	2000
EBARA ENGINEERING SINGAPORE PTE LTD	1000
FUJIKIN SINGAPORE PTE. LTD.	1000
HIRATA FA ENGINEERING (S) PTE LTD	1000
HITACHI ZOSEN CORPORATION (SINGAPORE BRANCH)	2500
ISUZU MOTORS ASIA LIMITED	2500
JAPAN MARINE UNITED SINGAPORE PTE LTD	1000
JFE STEEL ASIA PTE. LTD	1250
KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES (SINGAPORE) PTE LTD	2500
KEMEL ASIA PACIFIC PTE. LTD.	500
KS DISTRIBUTION PTE. LTD	250
NIKON SINGAPORE PTE LTD	2500
NSK ASEAN & OCEANIA PTE LTD	1000
PORITE SINGAPORE PTE LTD	250
SEIKO INSTRUMENTS SINGAPORE PTE LTD	1000
SHIMADZU (ASIA PACIFIC) PTE LTD	2500
SHIMANO SINGAPORE PTE LTD	1000
SINGAPORE TAKADA INDUSTRIES PTE LTD	1000
SMC MANUFACTURING (S) PTE LTD	500
TADANO ASIA PTE LTD	1000
TORISHIMA PUMP MFG CO LTD SINGAPORE BRANCH	1000
TOYOTA MATERIAL HANDLING MARKETING ASIA PACIFIC PTE LTD	1000
TOYOTA MOTOR ASIA PACIFIC PTE LTD	3000
YAMAHA MOTOR ASIA PTE LTD	1000
YANMAR INTERNATIONAL SINGAPORE PTE LTD	1250

第2工業部会

DENKA SINGAPORE PTE LTD	1000
FUJI OIL ASIA PTE LTD	500
FUJIFILM ASIA PACIFIC PTE. LTD.	2500
JXTG NIPPON OIL & ENERGY CORPORATION	2500
KANEKA SINGAPORE CO (PTE) LTD	2500
KAO SINGAPORE PRIVATE LIMITED	1000

KURARAY ASIA PACIFIC PTE LTD	1000
MEIJI SEIKA (S) PTE LTD	2500
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE LTD	2500
NIPPON SHOKUBAI (ASIA) PTE LTD	1000
OSAKA GAS SINGAPORE PTE LTD	1000
SHOWA DENKO SINGAPORE PTE LTD	1000
TAIYO INTERNATIONAL PTE LTD	500
TECHNO STAFF PTE LTD	500
THREEBOND SINGAPORE PTE LTD	1000
TOKYO GAS ASIA PTE LTD	1000
TORAY INTERNATIONAL SINGAPORE PTE LTD	1250
TOSOH ASIA PTE. LTD.	1000
UBE SINGAPORE PTE LTD	1000
YAKULT (SINGAPORE) PTE LTD	1250
第3工業部会	
CANON SINGAPORE PTE. LTD.	3000
CASIO SINGAPORE PTE LTD	1000
DENSO TEN SINGAPORE PRIVATE LIMITED	1000
FUJI ELECTRIC ASIA PACIFIC PTE LTD	1250
FUJIKURA ASIA LIMITED	1250
FUTABA DENSHI CORP. (S) PTE LTD	500
IBIDEN ASIA HOLDINGS PTE. LTD.	1250
KOA DENKO (S) PTE LTD	1000
KONICA MINOLTA BUSINESS SOLUTIONS ASIA PTE LTD	2500
KUSATSU ELECTRIC (S) PTE LTD	200
KYOCERA ASIA PACIFIC PTE LTD	1000
MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE LTD	1000
MITSUBISHI ELECTRIC ASIA PTE LTD	3000
NEC ASIA PACIFIC PTE LTD	3000
O S ELECTRONICS (S) PTE LTD	5000
OLYMPUS SINGAPORE PTE LTD	1000
ORIENTAL MOTOR ASIA PACIFIC PTE LTD	1000
RICOH ASIA PACIFIC PTE LTD	2000
RISO (SG) PTE LTD	1000
ROHM SEMICONDUCTOR SINGAPORE PTE. LTD.	1000
SMK ELECTRONICS (S) PTE LTD	500
TDK SINGAPORE PTE LTD	1000
TDK-LAMBDA SINGAPORE PTE LTD	500
貿易部会	
HANWA SINGAPORE (PTE) LTD	2500
ITOCHU SINGAPORE PTE LTD	1250
KANEMATSU (SINGAPORE) PTE. LTD.	1250
MARUBENI ASEAN PTE LTD	3000
MITSUBISHI CORPORATION	3000

MITSUI & CO. (ASIA PACIFIC) PTE LTD	3000
NAGASE SINGAPORE PTE LTD	1000
SUMITOMO CORPORATION ASIA & OCEANIA PTE LTD	3000
TOYOTA TSUSHO ASIA PACIFIC PTE LTD	2500

金融・保険部会

AOZORA BANK, LTD SINGAPORE REPRESENTATIVE OFFICE	1000
DAIWA ASSET MANAGEMENT (SINGAPORE) LTD.	500
DAIWA CAPITAL MARKETS SINGAPORE LIMITED	2500
HITACHI CAPITAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.	1250
MITSUBISHI UFJ LEASE (S) PTE LTD	1000
MITSUBISHI UFJ TRUST AND BANKING CORPORATION	2500
MIZUHO BANK LTD.	3000
MSIG INSURANCE (SINGAPORE) PTE LTD	2500
SOMPO INSURANCE SINGAPORE PTE LTD	2500
SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION	3000
SUMITOMO MITSUI FINANCE AND LEASING (SINGAPORE) PTE. LTD.	500
SUMITOMO MITSUI TRUST BANK, LTD	2500
THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, LTD (SINGAPORE BRANCH)	3000
THE HOKURIKU BANK LTD Singapore Representative Office	250
THE NORINCHUKIN BANK SINGAPORE BRANCH	2500
THE TOA REINSURANCE COMPANY LIMITED (SINGAPORE BRANCH)	500
TOKYO CENTURY LEASING (SINGAPORE) PTE LTD	2500

建設部会

AGC ASIA PACIFIC PTE. LTD	2500
JDC CORPORATION	1000
KAJIMA OVERSEAS ASIA PTE LTD	2500
KURIHARA KOGYO CO LTD	1000
MITSUBISHI JISHO SEKKEI ASIA PTE. LTD.	500
NAKANO SINGAPORE (PTE) LTD	2500
OBAYASHI SINGAPORE PRIVATE LIMITED	2500
PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO LTD	2500
SATO KOGYO CO LTD	2500
SHIMIZU CORPORATION	2500
TAIHEIYO SINGAPORE PTE LTD	1000
TAISEI CORPORATION	2500
TAKASAGO SINGAPORE PRIVATE LIMITED	1000
TAKENAKA CORPORATION	1250

運輸・通信部会

DAIHO PROJECT SERVICES PTE LTD	500
FT LOGISTICS (ASIA) PTE. LTD.	500
KOYO KAIUN ASIA PTE LTD	500
KUMIAI NAVIGATION (PTE) LTD	500
MITSUI-SOKO (SINGAPORE) PTE LTD	1000

MOL LOGISTICS (SINGAPORE) PTE LTD	500
NIPPON CARGO AIRLINES CO LTD	500
NISSIN TRANSPORT (S) PTE LTD	200
NYK GROUP SOUTH ASIA PTE LTD	1250
SANKYU (SINGAPORE) PTE LTD	2500
SG HOLDINGS GLOBAL PTE LTD	1000
SUMITOMO WAREHOUSE (SINGAPORE) PTE LTD	1000
TOYOFUJI SHIPPING SINGAPORE PTE. LTD.	1000
WEST JAPAN RAILWAY COMPANY Singapore Rep Office	1250
YONG SHENG SHIPPING PTE LTD	500
YUSEN LOGISTICS (SINGAPORE) PTE LTD.	1000
観光・流通・サービス部会	
AJINOMOTO (SINGAPORE) PTE LTD	2500
ALL NIPPON AIRWAYS CO LTD	1250
CUNY'S GLOBAL PTE LTD	250
ES NETWORKS ASIA GLOBAL PTE LTD	250
JAPAN AIRLINES CO LTD	1250
JTB PTE LTD	1000
KIRIN HOLDINGS SINGAPORE PTE. LTD.	1500
LEOPALACE22 SINGAPORE PTE LTD	1250
MITSUBISHI ESTATE AISA PTE LTD	1000
NETSUI FUDOSAN (ASIA) PTE LTD	2500
MORI HAMADA & MATSUMOTO (SINGAPORE) LLP	500
NAGASHIMA OHNO & TSUNEMATSU SINGAPORE LLP	500
NIKKEI GROUP ASIA PTE LTD	1000
NTA TRAVEL (SINGAPORE) PTE LTD	1250
R E & S ENTERPRISES PTE LTD	1000
SALESBRIDGE HR PTE LTD	888
SBG HOLDINGS PTE LTD	500
SHOGAKUKAN ASIA PTE LTD	250
WASEDA SHIBUYA SENIOR HIGH SCHOOL IN SINGAPORE PTE LTD	500
YUSEN TRAVEL (SINGAPORE) PTE LTD	500
GROUP COMPANIES	
ASAHI KASEI GROUP	4500
ASAHI KASEI PLASTICS SINGAPORE PTE LTD	
ASAHI KASEI BIOPROCESS SINGAPORE PTE LTD	
ASAHI KASEI SYNTHETIC RUBBER SINGAPORE PTE. LTD.	
DAI NIPPON PRINTING GROUP COMPANIES	1250
TIEN WAH PRESS PTE LTD	
DNP ASIA PACIFIC PTE. LTD.	

DIC GROUP COMPANIES	2500
DIC ASIA PACIFIC PTE LTD	
DIC ALKYLPHENOL SINGAPORE PTE LTD	
FUJITSU GROUP COMPANIES	3500
FUJITSU ASIA PTE LTD	
FUJITSU GENERAL (ASIA) PTE LTD	
PFU ASIA PACIFIC PTE LTD	
FDK SINGAPORE PTE LTD	
HITACHI GROUP OF COMPANIES	2500
HITACHI ASIA LTD	
HITACHI CONSTRUCTION MACHINERY ASIA AND PACIFIC PTE LTD	
IDEMITSU GROUP COMPANIES	2500
IDEMITSU INTERNATIONAL (ASIA) PTE LTD	
IDEMITSU CHEMICALS SOUTHEAST ASIA PTE LTD	
IDEMITSU LUBE ASIA PACIFIC PTE LTD	
IDEMITSU LUBE (SINGAPORE) PTE LTD	
IDEMITSU TANKER CO LTD SINGAPORE BRANCH	
IHI GROUP COMPANIES	5000
IHI ASIA PACIFIC PTE. LTD.	
JURONG ENGINEERING LTD	
NIIGATA POWER SYSTEMS (SINGAPORE) PTE LTD	
KIKKOMAN GROUP OF COMPANIES	2500
KIKKOMAN (S) PTE LTD	
KIKKOMAN TRADING ASIA PTE LTD	
DEL MONTE ASIA PTE LTD	
JFC (S) PTE LTD	
mitsubishi chemical holdings group	2500
MITSUBISHI CHEMICAL ASIA PACIFIC PTE LTD	
ADVANCED PLASTICS COMPOUNDS SINGAPORE PTE LTD	
MCL LOGISTICS ASIA PTE LTD	
NIPPON GOHSEI ASIA PACIFIC PTE LTD	
MT PHARMA SINGAPORE PTE LTD	
MCC AQUA SOLUTIONS ASIA PTE LTD	
MITSUBISHI CHEMICAL INFONICS PTE LTD	
MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP	2500
MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES ASIA PACIFIC PTE. LTD.	

MITSUI CHEMICALS GROUP	5000
MITSUI CHEMICALS ASIA PACIFIC, LTD	
MITSUI PHENOLS SINGAPORE PTE LTD	
MITSUI ELASTOMERS SINGAPORE PTE LTD	
PRIME EVOLUE SINGAPORE PTE LTD	
MITSUI CHEMICALS SINGAPORE R&D CENTRE PTE LTD	
MOL GROUP COMPANIES (MITSUI O.S.K. LINES. LTD)	4000
MOL (ASIA OCEANIA) PTE LTD	
MOL CHEMICAL TANKERS PTE. LTD.	
MOL TANKSHIP MANAGEMENT (ASIA) PTE LTD	
M.O. TOURIST (SINGAPORE) PTE LTD	
PHOENIX TANKERS PTE. LTD.	
NIPPON EXPRESS GROUP	3000
NIPPON EXPRESS (SOUTH ASIA & OCEANIA) PTE LTD	
NIPPON EXPRESS (SINGAPORE) PTE. LTD	
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL GROUP COMPANIES	5750
NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL SOUTHEAST ASIA PTE LTD.	
NS SOLUTIONS ASIA PACIFIC PTE. LTD.	
NIPPON STEEL & SUMIKIN BUSSAN (SINGAPORE) PTE. LTD.	
NISSHIN STEEL ASIA PTE. LTD	
NISSHINBO GROUP COMPANIES	2500
NISSHINBO SINGAPORE PTE. LTD.	
NJR (SINGAPORE) PTE LTD	
ALPHATRON MARINE SYSTEMS PTE LTD	
NTT GROUP COMPANIES	2000
NTT DATA ASIA PACIFIC PTE. LTD.	
NTT SINGAPORE PTE LTD	
OMRON GROUP COMPANIES	2500
OMRON ASIA PACIFIC PTE LTD	
OMRON ELECTRONICS PTE LTD	
OMRON ELECTRONIC COMPONENTS PTE LTD	
OMRON HEALTHCARE SINGAPORE PTE LTD	
PANASONIC GROUP COMPANIES	5000
PANASONIC ASIA PACIFIC PTE LTD	
PANASONIC APPLIANCES REFRIGERTATION DEVICES	
PANASONIC AVC NETWORKS SINGAPORE	
PANASONIC INDUSTRIAL DEVICES SINGAPORE	
PANASONIC INDUSTRIAL DEVICES SEMICONDUCTOR ASIA	
PANASONIC FACTORY SOLUTIONS ASIA PACIFIC	
PANASONIC R&D SINGAPORE	

TOKIO MARINE GROUP	3000
TOKIO MARINE INSURANCE SINGAPORE LTD	
TOKIO MARINE LIFE INSURANCE SINGAPORE LTD.	
TOSHIBA GROUP COMPANIES	3000
TOSHIBA ASIA PACIFIC PTE LTD	
TOSHIBA TEC SINGAPORE PTE LTD	
TOSHIBA ELECTRONICS ASIA (SINGAPORE) PTE LTD	
SONY GROUP OF COMPANIES	5000
SONY ELECTRONICS ASIA PACIFIC PTE LTD.	
SONY ELECTRONICS (SINGAPORE) PTE LTD.	
SONY GLOBAL TREASURY SERVICES PLC, SINGAPORE BRANCH	
SONY MOBILE COMMUNICATIONS INTERNATIONALS AB	
SONY MUSIC ENTERTAINMENT	
SONY PICTURES ENTERTAINMENT	
SUMITOMO CHEMICAL & AFFILIATES	5400
SUMITOMO CHEMICAL ASIA PTE LTD	
PETROCHEMICAL CORPORATION OF SINGAPORE (PRIVATE) LIMITED	
THE POLYOLEFIN COMPANY (SINGAPORE) PTE LTD	
SUMITOMO CHEMICAL ENGINEERING SINGAPORE PTE. LTD	
SUMITOMO SEIKA SINGAPORE PTE LTD	
SCAS SINGAPORE PTE. LTD.	
SUNOVION PHARMACEUTICALS ASIA PACIFIC PTE LTD	
TAOKA CHEMICAL SINGAPORE PTE LTD	
SUMITOMO ELECTRIC GROUP COMPANY	3000
SUMITOMO ELECTRIC AUTOMOTIVE PRODUCTS (S) PTE LTD	
SUMITOMO ELECTRIC INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE LTD	
SUMITOMO ELECTRIC ASIA PACIFIC PTE LTD	
YOKOGAWA GROUP COMPANIES	2500
YOKOGAWA ENGINEERING ASIA PTE LTD	
YOKOGAWA ELECTRIC INTERNATIONAL PTE. LTD.	
YOKOGAWA ELECTRIC ASIA PTE LTD	
【個人寄付】	
(SUPERMEDIA) - MR. KANJI SONOSHITA	50
TOTAL	S \$ 288,488

日本シンガポール協会便り No.57

日本シンガポール協会よりお知らせです

東京で練習して、シンガポールで歌いましょう♪

混声合唱団「JCT」へのお誘い



The Japan Singapore
Association



Chorus TOKYO

かつてシンガポール日本人会の合唱団に籍を置いた歌好きの仲間が、帰国後2008年に都内で立ち上げたアマチュア合唱団です。2014年から、日本シンガポール協会の合唱団となりました。

JCTの最大の目標は2年に一度、シンガポール日本人会オーデトリウムに集まり、現地の合唱団とジョイントコンサートを開催することです。

次回のシンガポール公演 ご案内
2018年 秋 (予定)



- ・入会資格：とくになし。JCTのモットー「仲良く 楽しく 美しく」にご賛同いただける方
- ・練習日：月2回・第2土曜日午後、第4日曜日午前（原則）。不定期で懇親会あり
- ・会場：港区・新宿区の公共施設ほか
- ・団費：年会費：10,000円
- ・1年の公演：ファミリーコンサート、施設訪問、日本シンガポール協会のイベント出演、JAS JOINT CONCERT（2年ごと。2016年11月19日、於シンガポール日本人会）など
- ・レパートリー：日本のうた、外国のうた等、多数

はい、こちらは「日本シンガポール協会」です！

「日本シンガポール協会」は1971年の設立以来、「シンガポール日本商工会議所（JCCI）」とも密接に連携し、日本とシンガポールとの経済協力、文化交流を深めるための活動をボランティア・ベースで行っています。シンガポールとの関係、交流を深めるため、ご帰国されましたら、あるいは今から協会の活動にご参加されませんか。ご入会を心からお待ちしております。連絡先は下記のとおりです。（2013年1月に、事務所は港区赤坂より港区芝に引っ越しました）



一般社団法人 日本シンガポール協会
〒108-0014 東京都港区芝4-7-6 芝ビルディング308号
電話：03-6435-3600 FAX：03-6435-3602
E-mail：singaaso@singaaso.or.jp
ホームページ：http://www.singaaso.or.jp/

【2017年会員懇親パーティー】

本年は12月8日（金）に篠田大使を主賓としてお迎えし、会員懇親パーティーを開催致しました。
沢山の会員企業の皆様の笑顔に支えられ、大盛況の内に終了することが出来ました！







Japanese Chamber of Commerce and I



2017年 ラッキードロー賞品ご提供一覧

企業名ABC順

※ Price excludes GST and service charge

No	Company name	Prize	Quantity	Unit	Unit price (S\$)	TTL (S\$)
1	Ajinomoto (Singapore) Pte. Ltd.	aminoVital® Perfect Energy	90		5	450
2	All Nippon Airways Co., Ltd.	Economy Class Return Air Ticket from Singapore to Tokyo	1	pair	-	-
3	Aon Singapore Pte Ltd	Manchester United Training Shirt with Aon Logo	3		60	180
4	Asahi Group Holdings Southeast Asia Pte Ltd	Asahi Super Dry Beer	2	cartons	100	200
5	Brother Singapore Pte Ltd	Sewing Machine JV1400	1		260	260
6	Brother Singapore Pte Ltd	Label Printer PT-D200RK	1		70	70
7	Canon Singapore Pte. Ltd.	Canon Mirrorless Camera EOS M100 Kit	1	kit	799	799
8	Canon Singapore Pte. Ltd.	Canon Compact Photo Printer SELPHY CP1301	1		199	199
9	Casio Singapore Pte Ltd	Watch EQB-700D	1		699	699
10	Chiyoda Singapore Pte Limited	Takashimaya Voucher	1		200	200
11	Cuny's Global Pte Ltd	Chez Yamashita Voucher	1		100	100
12	Eishinkan Singapore Pte Ltd.	Meidi-ya Voucher	1		200	200
13	Epson Singapore Pte Ltd	EPSON EB-2040 3LCD Projector	1		1400	1400
14	Epson Singapore Pte Ltd	EPSON L4160 Integrated Ink Tank System Printer	1		373	373
15	Frasers Hospitality Pte Ltd	3 days/2 nights Stay in a 2 Bedroom Deluxe at the Fraser Residence Sudirman	1	pair	510	510
16	Frasers Hospitality Pte Ltd	2 days/1 night Stay in a 1 Bedroom Unit at the Frasers Suites Singapore or Frasers Place Robertson Walk	1	pair	480	480
17	Frasers Hospitality Pte Ltd	2 days/1 Night Stay in a Studio Superior at the Capri by Fraser, Changi City	1	pair	450	450
18	Frasers Hospitality Pte Ltd	2 days/1 Night Stay in a Studio Deluxe at the Capri by Fraser, Kuala Lumpur	1	pair	355	355
19	Frasers Hospitality Pte Ltd	3 days/2 Nights Stay in a Superior Room at the Modena by Fraser Bangkok	1	pair	240	240
20	FUJI Electric Asia Pacific Pte. Ltd.	Meidi-ya Voucher	1		300	300
21	Fuji Xerox Asia Pacific Pte Ltd	Printer DocuPrint CP225w	1		300	300
22	Fuji Xerox Singapore	Golf Ball	1	dozen	25	25
23	FUJIFILM Asia Pacific Pte Ltd	INSTAX mini 9 Instant Camera Flamingo Pink & Film Set	1	set	172.9	172.9
24	FUJIFILM Asia Pacific Pte Ltd	INSTAX mini 9 Instant Camera Cobalt Blue & Film Set	1	set	172.9	172.9
25	Fujikin Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		300	300
26	Fujikin Singapore Pte Ltd	Golf Gift Set	3	set	45	135
27	Fujitsu Asia Pte Ltd	ScanSnap ix500	1		440	440
28	Furukawa Electric Singapore Pte Ltd	Isetan Voucher	1		300	300
29	GCA Singapore Pte Ltd	Veuve Clicquot Champagne	2		60	120
30	Good Job Creations (Singapore) Pte. Ltd.	Golf Balls	4	dozens	100	400
31	HANWA Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		300	300
32	Hitachi Asia, Ltd.	Rice Cooker RZ-KG18YS	1		899	899
33	Hitachi Sunway Information Systems Singapore Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	1		200	200
34	IHI Asia Pacific Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	1		300	300
35	IIJ Global Solutions Singapore Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	1		100	100
36	IIJ Global Solutions Singapore Pte. Ltd.	Stainless Bottle	5		30	150
37	Information Development Singaopre Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		200	200
38	ISUZU Motors Asia Limited	Takashimaya Voucher	1		300	300
39	ITOCHU Singapore Pte. Ltd.	Hokkaido Yumepirika Rice 5kg	5		57.7	288.5
40	ITOCHU Singapore Pte. Ltd.	Dole Packaged Fruits Combo	12	sets	20.5	246

No	Company name	Prize	Quantity	Unit	Unit price (S\$)	TTL (S\$)
41	ITOKI Systems (Singapore) Pte., Ltd.	Itoki Office Chair	1		1000	1000
42	Iwatani Corporation Singapore Branch	Portable Gas Cooker	1		60	60
43	Iwatani Corporation Singapore Branch	Gas Cartridge	3		10	30
44	JAC Recruitment Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	1		300	300
45	Japan Airlines Co., Ltd.	Economy Class Return Air Ticket from Singapore to Tokyo	1	pair	-	-
46	Japan Green Hospital Pte Ltd	Blood Pressure Monitor	1		150	150
47	Japan Green Hospital Pte Ltd	Thermometer	3		30	90
48	Japan Green Hospital Pte Ltd	Ice Pillow	3		20	60
49	Japan Marine United Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		200	200
50	Japanese Kindergarten (S) Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		150	150
51	JTB Pte Ltd	JTB Travel Voucher	1		300	300
52	JXTG Nippon Oil & Energy Corporation	Takashimaya Voucher	1		300	300
53	K&L Creative Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		100	100
54	Kajima Overseas Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		300	300
55	Kanematsu (Singapore) Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	1		200	200
56	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	T-Shirt (Kawasaki Motorcycle/Logo)	3		28	84
57	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Coffee Mug (with Kawasaki Logo)	5		10	50
58	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Key Ring (Kawasaki Ninja)	3		6	18
59	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Towel (Kawasaki Racing Spirits)	5		4	20
60	Kawasaki Heavy Industries (Singapore) Pte. Ltd.	Towel (Kawasaki Winning Checker)	5		4	20
61	KDDI Singapore Pte Ltd	Golf Balls	5	dozens	55	275
62	Kemel Asia Pacific Pte Ltd	Isetan Voucher	1		150	150
63	Kikkoman (S) Pte Ltd	Kikkoman Soy Sauce	13	cases	30	390
64	Kirin Holdings Singapore Pte, Ltd.	Kirin Ichiban-shibori Beer 350ml Can	10	cartons	68	680
65	Konica Minolta Business Solutions Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		300	300
66	Koshidaka Singapore Pte Ltd	Karaoke Manekineko Cash Voucher	1		500	500
67	Kowa Holdings Asia Pte. Ltd.	Waist Supporter	4		52	208
68	Kowa Holdings Asia Pte. Ltd.	Knee Supporter	46		18.6	855.6
69	Kowa Holdings Asia Pte. Ltd.	Unakowa Mushiyoke Toban	10		16	160
70	Kowa Holdings Asia Pte. Ltd.	Face Mask	200	packs	6	1200
71	Kowa Holdings Asia Pte. Ltd.	Cool Ecology (Neck cooler)	10		5	50
72	KYOCERA Asia Pacific Pte. Ltd	Kocera Ceramic Kitchen Knife Set (Green)	1	set	136	136
73	KYOCERA Asia Pacific Pte. Ltd	Kocera Ceramic Kitchen Knife Set (Red)	1	set	136	136
74	KYOCERA Asia Pacific Pte. Ltd	Kocera Ceramic Kitchen Knife Set (Black)	1	set	136	136
75	Mabuchi Motor (Singapore) Pte. Ltd.	Submarine Motor	10		Not for sale	-
76	Marubeni Asean Pte Ltd	Asics Voucher	1		450	450
77	MCL Logistics Asia Pte Ltd	NTUC Voucher	1		200	200
78	Meiden Singapore Pte Ltd	Isetan Voucher	1		300	300
79	Meidi-ya	Meidi-ya Voucher	1		500	500
80	Meiji Seika (S) Pte Ltd	Hello Panda Choco Milk 50g	3	cases	80	240
81	Metrixlab Singapore (Macromill Group)	Isetan Voucher	1		300	300
82	Mikimoto Jewellery (Singapore) Pte Ltd	Hello Kitty Bangle	1		1065.42	1065.42

ラッキードロワー賞品ご提供企業様一覧

No	Company name	Prize	Quantity	Unit	Unit price (S\$)	TTL (S\$)
83	Millennium Hotels and Resorts	Orchard Hotel Singapore Accommodation Voucher - 1 Night Weekend Stay in Signature Suite with Club Benefits	1	pair	1050	1050
84	Millennium Hotels and Resorts	M Social Singapore Accommodation Voucher - 1 Night Stay In Loft Gallery Room with Daily Buffet Breakfast	1	pair	450	450
85	Millennium Hotels and Resorts	Copthorne King's Hotel Singapore Accommodation Voucher- 1 Night Weekend Stay In Deluxe Room with Daily Buffet Breakfast	1	pair	450	450
86	Millennium Hotels and Resorts	M Social Singapore Accommodation Voucher - 1 Night Stay in Alcove Cosy Room with Daily Buffet Breakfast	1	pair	410	410
87	Mitsubishi Chemical Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		500	500
88	Mitsubishi Corporation	Takashimaya Voucher	1		500	500
89	Mitsubishi Electric Asia Pte Ltd	Tatami Fans	7	units	159	1113
90	Mitsubishi Heavy Industries Asia Pacific Pte. Ltd.	Isetan Voucher	1		300	300
91	Mitsui & Co. (Asia Pacific) Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	1		500	500
92	Mitsui Chemicals Asia Pacific, Ltd.	Takashimaya Voucher	1		300	300
93	Mitsui Fudosan (Asia) Pte. Ltd.	St Regis 1 Night Stay Gift Certificate in Grand Deluxe Room	1	pair	-	-
94	Mizuho Bank, Ltd.	Isetan Voucher	1		300	300
95	Mizuho Bank, Ltd.	Golf Balls	2	dozens	69.55	139.10
96	MSIG Insurance (Singapore) Pte. Ltd.	Golf Balls	5	dozens	70	350
97	NEC Asia Pacific Pte. Ltd.	Isetan Voucher	1		300	300
98	Nikkei Group Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		200	200
99	Nikon Singapore Pte. Ltd,	Nikon Camera W300	1		689	689
100	Nippon Cargo Airlines Co Ltd	Airplane Model 1/200	1		20	20
101	Nippon Cargo Airlines Co Ltd	Airplane Model 1/250	2		10	20
102	Nippon Express (South Asia & Oceania) Pte Ltd / Nippon Express (Singapore) Pte Ltd	Travel Voucher	1		500	500
103	Nippon Kaiji Kyokai Singapore Pte. Ltd.	Golf Balls	2	dozens	70	140
104	Nippon Life Asia Pacific (Regional HQ) Pte Ltd	Golf Balls	2	dozens	50	100
105	Nippon Steel and Sumitomo Metal South East Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		300	300
106	Nishimura & Asahi (Singapore) LLP	Isetan Voucher	1		200	200
107	Nishimura & Asahi (Singapore) LLP	Golf Balls	2	dozens	50	100
108	Nisshinbo Singapore Pte Ltd	Nisshinbo Sports Towel	5		15	75
109	Nisshinbo Singapore Pte Ltd	Limited Towel of All Japan Junior Tennis Championships 2017	5		Not for sale	-
110	Nomura Research Institute Asia Pacific Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		300	300
111	Novotel Singapore Clarke Quay	1 Complimentary Dinner Voucher	1	pair	120	120
112	NSK Asean & Oceania Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		200	200
113	NTT Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		200	200
114	Obayashi Singapore Private Limited	Takashimaya Voucher	1		300	300
115	Olympus Singapore Pte. Led	Tough TG-5 Waterproof Digital Camera	1		534.4	534.4
116	OMRON Asia Pacific Pte Ltd	Omron Body Composition Monitor HBF-375	2		228	456
117	Osaka Gas Singapore Pte. Ltd.	Golf Balls	2	dozens	60	120
118	Penta-Ocean Construction Co., Ltd.	Isetan Voucher	1		300	300
119	Rakuten Asia Pte. Ltd.	FC Barcelona Home Jersey	1		100	100
120	RGF HR Agent Singapore Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	1		300	300

No	Company name	Prize	Quantity	Unit	Unit price (S\$)	TTL (S\$)
121	RISO (SG) Pte Ltd	JTB Voucher	1		300	300
122	Sankyu (Singapore) Pte Ltd	Isetan Voucher	1		200	200
123	SATO Kogyo Co., Ltd.	Isetan Voucher	1		300	300
124	SBI Ven Capital Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	1		200	200
125	Seiko Instruments Singapore Pte Ltd.	Seiko Presage Automatic Watch	2		580	1160
126	Sharp Singapore Electronics Corporation Pte. Ltd.	SHARP Ultrasonic Washer UW-A1S-P(Pink)	2		158	316
127	Shimadzu (Asia Pacific) Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		300	300
128	Shimizu Buil Life Care Corporation Singapore Branch	Isetan Voucher	1		100	100
129	Shimizu Corporation	Isetan Voucher	1		300	300
130	Singapore Takada Ind. Pte. Ltd.	Isetan Voucher	1		200	200
131	Sojitz Asia Pte Ltd	Isetan Voucher	1		200	200
132	Sojitz Asia Pte Ltd	Four Leaves Voucher	1		100	100
133	Sompo Insurance Singapore Pte. Ltd.	Golf Balls	10	dozens	75	750
134	Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		300	300
135	Sumitomo Corporation Asia & Oseania Pte Ltd	Delphin Vacuum Cleaner with Air Purifer	1		4000	4000
136	Sumitomo Mitsui Banking Corporation	SMBC Singapore Open Ticket	10	pairs	60	600
137	Sumitomo Mitsui Trust Bank, Limited	Golf Balls	5	dozens	50	250
138	Supermedia	Sample Lesson Voucher	10		200	2000
139	T&C Manufacturing. Co. Pte. Ltd	Golf Balls	1	dozen	40	40
140	Taiyo International Pte Ltd	Golf Balls	2	dozens	50	100
141	Takenaka Corporation Singapore Office	Takashimaya Voucher	1		300	300
142	TDK Singapore (Pte) Ltd	Takashimaya Voucher	1		400	400
143	The Bank of Tokyo Mitsubishi UFJ Ltd	Golf Balls	20	dozens	30	600
144	The Hokuriku Bank, Ltd. Singapore Representative Office	Golf Balls	2	dozens	51	102
145	Toa Corporation Singapore	Takashimaya Voucher	1		300	300
146	Tokio Marine Insurance Singapore Ltd	Isetan Voucher	1		100	100
147	Tokio Marine Life Insurance Singapore Ltd.	Golf Balls	1	dozen	110	110
148	Tokyo Century Leasing (Singapore) Pte Ltd	Under Armour Sack Pack/ Shirt and Cap set	3	set	150	450
149	Toray International Singapore Pte Ltd	Torayvino 204MX	2		125	250
150	Toshiba Asia Pacific Pte Ltd	Hard Disk Toshiba Canvio Connect 3.0 V8 1TB	2		80	160
151	TOTO Asia Oceania Pte. Ltd.	Travel Washlet	4		144	576
152	TOYOTA Tsusho Asia Pacific Pte. Ltd.	Golf Balls	4	dozens	50	200
153	TrendMicro Singapore Pte Ltd	Virus Buster	12		60	720
154	Tsubaco Singapore Pte. Ltd.	Takashimaya Voucher	1		300	300
155	Tsubakimoto Singapore Pte Ltd	Takashimaya Voucher	1		300	300
156	Ulvac Singapore Pte Ltd	Capita Voucher	1		300	300
157	West Japan Railway Company	Train Model (Shinkansen)	20		5	100
158	West Japan Railway Company	Train Model (SL)	20		5	100
159	Yakult Singapore Pte Ltd.	Takashimaya Voucher	1		300	300
160	Yamato Transport (S) Pte. Ltd.	Club Head Cover	2		30	60

多くの会員企業様よりご支援ご協力賜り、誠にありがとうございました。

11月～12月 JCCIイベント写真

11月29日 セマカウ島 (Semakau Landfill) 視察会



12月13日 第1工業部会懇親ゴルフ並びに忘年会



12月14日 第2工業部会忘年会



12月15日 金融・保険部会忘年会



第566回理事会 議事録

日 時：2017年11月14日（火）12：30～14：00

場 所：日本人会 2階 ボールルーム

出席者：栃折会頭、鈴木、入江、佐々木、深谷副会頭、高沢、西田（浩）、高橋、松藤、桑田運営担当理事、堀内（浩）、山下、林、緋田、木下、古田、奈良坂、白川、橋田、松本、石井（誠）、土光、稲垣理事、堤、石井（淳） 参与、長尾事務局長 計26名

栃折会頭が議長となって開会した。

議 事：

（1）理事の異動等に伴う後任理事および後任副会頭の選出について

栃折会頭より、NTTデータアジアパシフィックの深谷副会頭が異動により同社を離れることが説明され、後任理事としてNTTシンガポールの若井直樹氏が着任することについて理事に諮られたところ、異議なく承認された。併せて、後任副会頭として、運営担当理事を務める住友化学アジアの高沢理事が推薦され、理事に諮られたところ、異議なく承認された。

（2）シンガポール進出日系中小企業セミナーへの後援名義について

長尾事務局長より、日本政策金融公庫が主催し、ジェットロやUOBが後援する「シンガポール進出日系中小企業セミナー」へのJCCIからの後援名義付与について、理事に諮られたところ異議なく承認された。

（3）入退会について

長尾事務局長より、3法人会員の入会申請、4法人会員と1個人会員の退会申請があった旨説明され、諮られたところ異議なく承認された。これにより会員数は、法人会員719社、個人会員91名、計820会員となった。

報告事項：

（1）会頭報告、最近および今後の主要行事・会合について

栃折会頭から以下の報告があった。EP発給に関するウォッチリストについて6月にレターを出し、7月にはリム大臣とのダイアログを実施したが、その後もTAFEPとのやり取りがスムーズにいかない、という企業の声が多く聞こえたため、JCCIとしてアンケートの実施と情報シェアを目的とした勉強会を開く。大使館とも連携してMOMやTAFEPに適切な働きかけを行う。

（2）部会、委員会報告について

- ・長尾事務局長より、JCCI基金管理委員会で最終決定された、2017年度の寄付先、留学生の審査結果について報告がなされた。
- ・鈴木募金委員長より、JCCI基金の募金状況が報告され、併せて本年度募金へのさらなる協力要請がなされた。

(3) 大使館並びにジェットロからの報告・連絡事項

日本大使館の堤参与より、以下の報告があった。

- ・10月23日から24日、シンガポールにおいて公益財団法人日本国際問題研究所（JIIA）及びシンガポール国立大学政策研究所（IPS）の共催により第12回日本・シンガポール・シンポジウムが開催され、両国の官民によって二国間関係などについて議論がなされた。日本からは堀井巖外務大臣政務官が登壇した。
- ・宮腰光寛首相補佐官が来星し、閣僚との面談を通じて日本からの輸出促進について意見交換を行ったほか、Food Japanにも参加した。篠田大使、栃折会頭、緋田日本人会長とも懇談を行った。
- ・12月1日に、天皇陛下誕生祝賀レセプションがシャングリラホテルにて開催される。
- ・11月11日から11月17日にかけて衆院選挙の在外投票が行われたが、シンガポールは投票率が非常に高い国の一つとなっている。
- ・トランプ米大統領が訪日し、日米首脳会談が開催された。北朝鮮への圧力で両国が一致する一方、貿易体制については多国間、2国間を巡り議論が分かれた。ベトナムのダナンで開催されたAPECにも安倍首相は参加し、TPP11が合意（閣僚合意）された。今後首脳合意、署名発行を目指す。

ジェットロの石井所長より、以下の報告があった。

- ・在星企業向けアンケートについて、協力に感謝する。
- ・宮腰総理大臣補佐官も来場したフードジャパンにおいては、日本酒、加工食品、調理器具、水産加工品が扱われ、低糖対策食品が注目を集めていた。

以上

<2017年12月入会会員一覧>

会 員 名	格付	備 考
GREENSAFE INTERNATIONAL PTE LTD [観光・流通・サービス部会]	B (法人)	Safety consultant, BizSafe service provider 現地法人（100%日本出資） 設立登記：2007年12月 従業員数：40（現地邦人1）
Mr Shohei Fujimori (ASIAN TOUR (TOURNAMENT PLAYERS DIVISION) PTE LTD) [観光・流通・サービス部会]	D (個人)	Generate playing opportunities & increasing prize money for members through sanctioning & ownership of Asian Tour Golf tournament events 現地法人（現地独立資本） 設立登記：2004年2月 従業員数：17（現地邦人1）

最近の推移：

('15年7月) 835会員、('15年9月) 840会員、('15年10月) 846会員、('15年11月) 848会員、('15年12月) 854会員
('16年1月) 842会員、('16年1月) 850会員、('16年2月) 850会員、('16年3月) 850会員 ('16年4月) 854会員
('16年5月) 854会員、('16年6月) 856会員、('16年7月) 849会員、('16年9月) 854会員、('16年10月) 854会員
('16年11月) 852会員、('16年12月) 854会員、('17年1月) 840会員、('17年2月) 834会員、('17年3月) 835会員
('17年4月) 824会員、('17年5月) 826会員、('17年6月) 831会員、('17年7月) 817会員、('17年9月) 821会員
('17年10月) 822会員、('17年11月) 820会員

シンガポール日本商工会議所
事務局便り



◀ 2017年11月 - 12月活動報告 ▶

運輸通信部会・第2工業部会・第3工業部会共催「セマカウ島視察会 (Semakau Landfill)」

去る11月29日(水)、運輸通信部会・第2工業部会・第3工業部会共催で、セマカウ島視察会を開催しました。セマカウ島は、National Environment Agencyによって管理されており、上陸には許可が必要となります。今回はPasir Panjang Terminalより、約30分フェリーに乗り、島に上陸しました。上陸後、セマカウ島の成り立ちなどの説明を受け、実際にバス、徒歩で島内見学をし、埋め立ての状況を目で見ることができました。廃棄物の海上最終処分場として開発、埋め立てのられた島にもかかわらず、自然豊かで、マングローブの林、ウニ、オオトカゲや野鳥など、自然生物も見ることが出来、大変貴重な機会となりました。

第1工業部会 懇親ゴルフ並びに忘年会

12月13日、久しぶりにSentosa Golf Club (Serapong Course) にて開催させていただき、13名の皆様にご参加いただきました。雷雨により12ホールで終了にもかかわらず、楽しい一日を過ごしていただけたことかと存じます。終始和気藹々とした雰囲気、親睦を深めることができました。

◀ 2018年1月 行事予定 ▶ ※予定は事情により変更・追加されることがございます。

開催日	開催区分	イベント名	時間・場所
1月8日(月)	-	シンガポール日本大使館、 日本人会、日本商工会議所共催 新年賀詞交換会	11:00 - 13:00 日本人会
1月9日(火)	理事会	1月度運営担当理事会 第568回理事会	11:30 - 12:14 12:15 - 14:00 日本人会
1月17日(水)	委員会	1月広報委員会	18:30 - 20:30 未定
1月22日(月)	部会	2018年8部会合同新年会	19:00 - 20:45 (開場18:30) Regent Hotel Royal Pavilion Ballroom
1月24日(水)	委員会	1月度会員講演会	15:30 - 17:00 日本人会
1月28日(日)	部会	貿易・運輸通信部会懇親ゴルフ	08:00 - 15:00 Orchid Country Club

月報 January, 2018

編集後記

出張や出迎いでチャンギ空港へ向かうときは、iChangiというアプリケーションを利用します。出張当日、クアラルンプール行きの航空券に記載されていたのはターミナル1、iChangiではターミナル4、少し迷いましたがターミナル4で無事チェックイン。その日は、Air Asiaがターミナル4へ移転した初日だったようです。聞くところによると、多くの人がターミナル1へ向かったらしく臨時でT1、T4間のシャトルを走らせて対処したそうです。SQ以外の航空会社ターミナルは固定しているという思い込み、紙データ（手持ちのeチケット）頼りの怖さを感じた日でもありました。ターミナル4では、自動化された出国やチェックイン手続き、そして出国後に目に飛び込んできたのは遊び心満載の椅子達。表紙と裏表紙でごく一部を紹介していますが、どの椅子に座って時間を過ごすか・・・旅行前のモチベーションを高める仕掛けが空港の付加価値を高めています。

話は変わりますが、地下鉄グリーンラインの主要駅であるブギス駅周辺は、大正時代には日本人街として栄えていたそうです。日本人会の資料によると当時2,000名ほどの日本人が生活しており、様々な日本の店が軒を連ねていたそうです。かつて、リークアンユー氏の著書の中で、歴史そのものより継承することを大切にするという一説が残っていますが、当時の建物の外観が今も一緒だということを見つけた時は感動すら覚えました。八卦が刻み込まれた1ドルコインのデザインの謂れはご存知でしょうか？最初の地下鉄工事の際に、風水で重要視する龍脈を乱したことが原因で引き起こされたといわれるアジア通貨危機を乗り切るためのアイデアだったそうです。お札にも仕掛けがありました。1、2、5、10、50、100の数字の中に細かくデザインされたもの・・・

少し視点をえて眺めてみると知的好奇心をくすぐる話題には事欠きません。ターミナル4にも、通過するだけでは味わえないこだわりがまだまだ隠されているはずです。

最後になりますが、2018年1月号の月報作成にあたり、お忙しい中ご執筆をいただきました皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

なお、編集は日本航空の山下、日本旅行の中島およびJCCI事務局が担当いたしました。

(編集後記執筆 NTA TRAVEL (SINGAPORE) PTE. LTD. 中島 茂)



左：山下 右：中島

○名前 山下 康次郎 (やました こうじろう)
○出身 鹿児島県
○在星暦 2年6カ月
○会社名 JAPAN AIRLINES CO., LTD.
○仕事内容 支店長
○趣味 散歩、サイクリング
○シンガポールのお気に入り
かわいいお洒落なカフェが増えてきたので意味もなくパソコンを持って入り浸っています。

○読者の皆様へ
JCCI機関誌「月報」は会員から選ばれた編集員が毎月試行錯誤を重ね皆さまの興味に応えられるよう一生懸命頑張って発行しています。皆さまの貴重な御意見が大変参考になりますので、お読み頂いた御意見、御感想を是非お聞かせください。また、今年も沢山の皆様に御寄稿の御依頼をさせていただく事になるかと思っておりますので御協力をよろしくお願い致します。

○名前 中島 茂 (なかしま しげる)
○出身 福岡県
○在星暦 2004年3月～
○会社名 NTA Travel Singapore Pte Ltd (日本旅行シンガポール)
○仕事内容 海外からシンガポールへのインバウンドおよびシンガポールから海外へのアウトバウンド旅行手配
○趣味 ランニング、朝活、(日本の) 秘湯、道の駅、宿場町巡り
○シンガポールのお気に入り
情報が入手しやすい環境、異文化の違いを直ぐに理解・納得できる環境、四季のない安定した気候、チャンギ空港からマリーナベイへ通じるイーストコーストランニングコース、パークウェイパレード (ショッピングモール)

○月報読者の皆様へ 月一回の広報委員会では、各業界から選ばれた広報委員の皆さんが独自の視点で集めた企画案が提案されてきます。皆さんの目のつけどころに感服しつつ、それぞれの企画案について調べられた知見にふれることが楽しみになっています。ご執筆者をはじめ様々な方のご協力で成り立つ月報を今後ともよろしくお祈りいたします。

発行

JAPANESE CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY, SINGAPORE
10 Shenton Way #12- 04/05 MAS Building Singapore 079117
Tel: 6221 - 0541 Fax: 6225 - 6197
E- mail: info@jcci.org.sg Web: <http://www.jcci.org.sg>

編集

TOUBI SINGAPORE PTE.LTD.
72 Eunos Ave 7 #04-06 Singapore 409570
Web: <http://www.toubi.co.jp/>

印刷

adred creation print pte ltd
Blk 12 Lorong Bakar Batu #01-01 Singapore 348745
Tel: 6747 - 5369 Fax: 6747 - 5269
Web: <http://www.adredcreation.com/>

☆☆JCCI Eメール送信サービスのお知らせ☆☆

シンガポール日本商工会議所ではセミナー情報や、サービス・新製品等のビジネス情報を
弊所メーリングリストを使用し、会員企業の皆様にお届けするサービスをご提供しております。

(2017年6月時点、2155名の方にご登録して頂いております)

Eメール送信サービス1回

SGD 200 (GST 込み)

(※会員企業様のみ利用可能とさせていただきます)

ご利用をご希望の方は「info@jcci.org.sg」(担当: Ms. Doris)まで、

下記必要事項を明記の上、お申し込み下さい。

- ①希望送信内容 ※原稿はソフトコピー(500KB以下、PDF)にてご提出下さい。
- ②希望送信日 ※余裕をもって、お申し込み下さい。(土日・祝日を除く)
- ③支払方法 ※現金・小切手・GIROのいずれか

【お申し込みから配信までの手順】

お申し込み頂いた後、事務局よりお申込確認用紙・ご請求書を送付致します。

お支払をお済ませいただき、テストメールをご確認頂きました後、配信となります。

皆様からのお申し込みをお待ちしております。

シンガポール日本商工会議所事務局 担当: Doris (Ms)
10 Shenton Way, #12-04/05 MAS Building, Singapore 079117
TEL: 6221-0541 FAX: 6225-6197 E-mail: info@jcci.org.sg



会員データベース 訂正・変更記入フォーム

会員データベース登録内容に訂正・変更がございましたら、下欄にご記入の上、事務所まで FAX また E メールにてご連絡頂きますよう、御願ひ申し上げます。

注：*必ず会社名と E メールはご記入下さい。

会社名(日)			
会社名(英)*			
旧代表者名(日)			
新代表者名(日)		新代表者名(英)	
E-MAIL*			

役職(英)		役職	
Address			
TEL:		業務内容	
FAX:			
WEB:			
日本人社員数		総従業員数	
変更日	年	月	日 より

緊急連絡 E メール：

その他

Fax: 6225 6197

担当：ドリス (doris@jcci.org.sg)



JCCI
SINGAPORE
Japanese Chamber of Commerce & Industry, Singapore